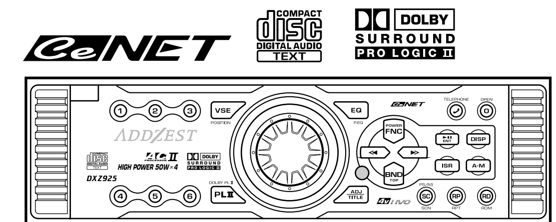
ADDZEST

DSP内蔵CDセンターユニット

DXZ925

取扱説明書

目次 Page>>>



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●この取扱説明書には、本機で操作するCD/MDチェンジャー、TVチューナー、TELリンクユニットの操作説明も含まれています。CD/MDチェンジャー、TVチューナーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目　次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

本機の操作

Next Page>>>

目　次

■タイトルをつける



■設定を変更する（アジャストモード）

外部機器の操作

■CD/MD/DVDチェンジャーを操作する

■テレビを見る

■携帯電話機を操作する

■その他の外部機器を操作する

その他

主な特長

本機は、AM/FMラジオとCDを内蔵し、別販のDVDチェンジャー、CDチェンジャー、MDチェンジャー、TVチューナー、5.1chサラウンドデコーダーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の1DINセンターユニットです。

■操作パネル/表示パネル部
- ヒューマンマシンインターフェイスを追求した新開発電動機構 "デュアルアクション"を採用、ディスプレイと操作パネルを分離し視認性、操作性を向上
- 高級感のあるアルミパネルを採用
- 操作性を追求したラバー付ロータリーエンコーダー

■高音質再生を実現するACプロセッサーII
- ユーザーの好みで、3パターンの音響空間を創成

【ドルビープロロジックII モード】
・CDのような通常のステレオ音源でも5.1ch再生を実現
・MUSIC/MATRIXの2モード選択可能
・サブウーファー用ローパスフィルター搭載

【プロモード(PRO)】
・タイムアライメント機能でピンポイントなポジション設定が可能(POSITION)
・自由なイコライジングが可能なパラメトリックイコライザー(P.EQ)
・サブウーファー用/ハイパス/ローパスフィルター搭載

【スタンダードモード(STD)】
・すべてのポジションにおいて前方定位を実現するバーチャルスペースエンハンサー(VSE)
・自由なイコライジングが可能なパラメトリックイコライザー(P.EQ)

- 高音質再生を実現する24ビットDAC搭載
- 4V/6chラインアウト出力は各モードに合わせて自由に設定が可能

(PL II)フロント/リア(4ch)+サブウーファー(1ch)+センタースピーカー(1ch)
(PRO)フロント/リア(4ch)+サブウーファー(2ch)
(STD)フロント/リア(4ch)+ノンフェダー(2ch)

■携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)
- ポータブルMDやDVD等が接続できるAUX入力端子(RCA)を装備

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵
- 最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ラジオチューナー部
- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- 30局の放送局名インプット機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CDプレーヤー部
- CDテキスト/CD-R/CD-RW再生対応
- 50曲のCDタイトルインプット機能
- リピート/スキャン/ランダム機能

■ CeNET (Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応
- 外部機器との結線にCeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要になりました。
- MDデッキをセンターユニット(本機)から操作できるデッキコントロール機能
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

■5.1chサラウンドデコーダーコントロール*(別販品接続時)*
- DVDチェンジャー結線時、DTS、ドルビーデジタル等の5.1ch再生がお楽しみいただけます。
- ドルビープロロジックII対応でステレオソースでも5.1ch再生を実現
- シアターサラウンドを実現するデジタルサウンドフィールド(DSF)およびパラメトリックイコライザー(P.EQ)等、音場再生や音場補正ができます。

■DVDチェンジャーコントロール*(別販品接続時)*
- DVD/ビデオCD/CD/MP3再生対応
- チャプター送り、戻しなど、主な操作をコントロール

※詳細機能についてはDVDチャンジャーに付属のリモコンでコントロール

■CD/MDチェンジャーコントロール*(別販品接続時)*
- 60曲のCDタイトルインプット機能
- スキャン/リピート/ランダム機能
- ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム機能

■TVチューナーコントロール*(別販品接続時)*
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■TEL-LINKユニットコントロール*(別販品接続時)*
- 携帯電話機のダイヤルメモリーを呼出して電話をかけるスーパースピードダイヤル機能

※詳細機能については付属のコントローラーでコントロール

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告	⚠ 注 意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

絵表示の例

	**△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。**
	**⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。**
	**❶ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

ご使用の前に

安全上のご注意

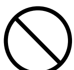
■使用上のご注意

⚠ 警 告

●走行中は運転者による操作をしない･･･
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。


●走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない･･･
運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。


●本機を分解したり、改造しない･･･
事故や火災、感電の原因となります。


●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない･･･
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。


●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する･･･
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。


●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する･･･
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

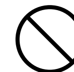

●本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する･･･
専門技術と経験が必要です。

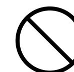

⚠ 注 意

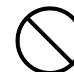
●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する･･･
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。


●デュアルアクションの開閉時に、機構部に手や指を近づけない･･･
ケガの原因となることがあります。


●ディスク挿入口に手や指を入れない･･･
ケガの原因となることがあります。


●ディスク挿入口に異物を入れない･･･
火災や感電の原因となることがあります。


●本機を車載用以外には使用しない･･･
感電やケガの原因となることがあります。


●アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない･･･
歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。


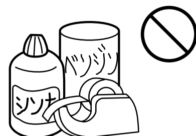
●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない･･･
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。


●電源を切るときは、音量を最小にする･･･
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。


取扱上のご注意

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠注 意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

表示画面について

●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。

●液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。

エラー表示について

●本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(82ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。
障害を取り除けば、通常の動作になります。

CDの演奏について

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

●COMPACT disc DIGITAL AUDIOまたはCOMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXTマークのついたCDをご使用ください。
また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

●CD-ROMは、本機では使用できません。

●CD-R/CD-RWで記録されたディスクは使用できない場合があります。

■取扱い上のご注意

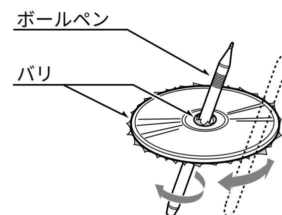
●CD-R/CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。

●記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。

●レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。
●直射日光の当たる場所
●湿気やホコリの多い場所
●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

スピーカーシステムについて

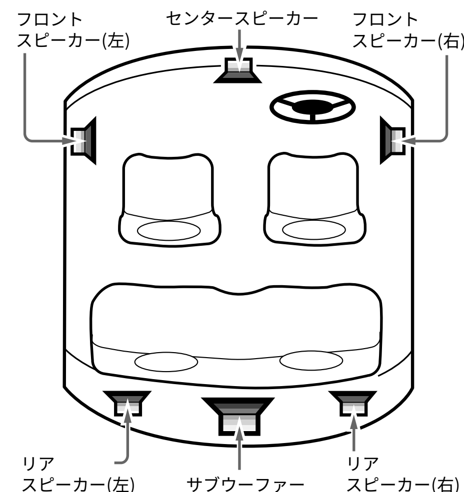
本機搭載のドルビープロロジックIIを最大限にお楽しみいただくために、5.1chのスピーカーシステムをお勧めします。
また、4ch+サブウーファー構成でも5.1ch再生に近い音場効果を得られるように設計されています。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
また、「スピーカーを設定する」(39ページ)をご覧になり、初期設定を変更してください。

ご注意

- **「CTR+SW」設定時、ドルビープロロジックIIモード以外では、センタースピーカーから音声は出力されません。**
- **「SW L+SW R」設定時、ドルビープロロジックIIモードでは、サブウーファーLchから音声は出力されません。**

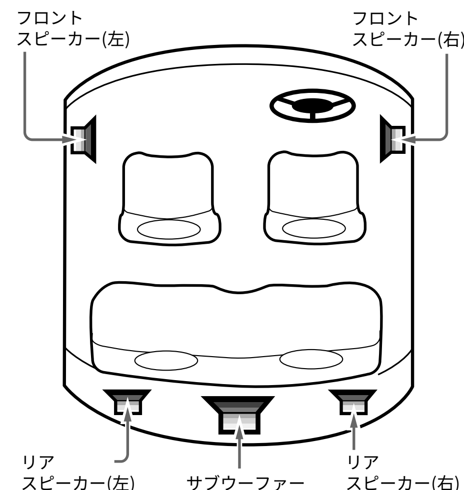
● 5.1chスピーカーシステム例

スピーカー設定を「CTR+SW」に設定にしてください。



● 4ch+サブウーファーシステム例

スピーカー設定を「SW L+SW R」に設定してください。



取扱上のご注意

操作パネルを開く

デュアルアクションについて…

ヒューマンマシンインターフェイスを追求した新開発電動機構の "デュアルアクション" を採用。
1DINスペースながら「マルチウインドウを採用した1DINサイズの表示パネル」と「1DINサイズの操作パネル」を装備し、大型表示と使い易いボタン配列を実現しました。

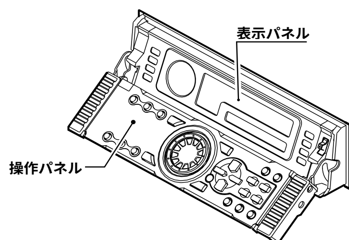
ご注意

本機の操作ボタンには、閉じた状態では操作できないボタンがございます。詳しくは、14ページの「各部の名称とはたらき」をご覧ください。

1 オープンボタンを押す



→操作パネルが開きます。



■操作パネルを閉じたいときには…

もう1度オープンボタンを押してください。

操作パネルについて

ご注意

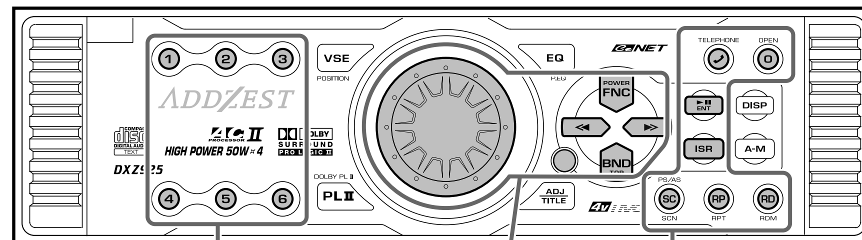
- ●結線を終えてから最初にACC電源ONにしたときは、(システムチェック動作時)自動的に操作パネルが開きます。
- ●本機は、安全のためにエンジンキーをOFFまたはACCをOFFにすると操作パネルが自動的に閉じます。
- ●ディスクを取り出した後、オープンボタンを押して表示パネル(ディスク挿入口)を閉めてください。開いたままにしておくと、約30秒後にビープ音を鳴らして自動的に表示パネル(ディスク挿入口)が閉じます。

⚠ 注 意

- ●操作パネルまたは表示パネルを閉じるときに指や異物などの障害がある場合は、安全機構がはたらき、その場で止まるか、開いた状態になります。再び動作させるには、障害物を取り除いた後、オープンボタンを押してください。
- ●操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- ●操作パネルを開いた状態で、必要以上な力を加えると操作パネルが一段下がります。安全機構が働くためで、故障ではありません。オープンボタンを2回押して操作位置に戻してください。下がった状態で使用すると、故障の原因となります。
- ●操作パネルを開いた状態で、トレーの代わりにして物を置かないでください。
- ●操作パネルを手動で動かすと、スロープ機構のガタつき、ギアの破損等、故障の原因となります。必要な時(リセット操作)以外は、無理に引き出さないでください。
手動で動かしてしまった場合は、オープンボタンを数回押して、操作パネルが正常な位置に戻ること、また正常に動作をすることを確認してください。

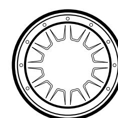
各部の名称とはたらき

本体部(操作パネルを閉じた状態)



①〜⑥

ダイレクトボタン
- ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
- チェンジャーモード時にはディスクを選択します。
- 電話モード時には、ダイヤルメモリーを呼出します。



ロータリーボリューム
- 時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
- アジャストモード時には、各種の設定に使います。



ファンクションボタン
- 電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。
- 電話モード時には通話を開始します。



バンドボタン
- ラジオ/TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)て自動選局か手動選局に切り換えます。
- CDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- チェンジャーモード時は、ディスクの切り換えに使います。(ディスクアップ機能)
- 電話モード時には通話を終了します。




サーチボタン
- ラジオ/TVモード時は選局に使います。
- CDモード時やチェンジャーモード時には選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



オープンボタン
- 操作パネルをオープン/クローズします。



電話ボタン
- 電話モードに切り換えます。



プレイ/ポーズボタン
- CDモードやチェンジャーモード時は、演奏の一時停止をします。また、各種設定の決定をします。



ISRボタン
- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)



スキャンボタン
- CDモード、チェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- ラジオ/TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。



リピートボタン
- CDモード、チェンジャーモード時に繰り返し演奏します。



ランダムボタン
- CDモードまたはチェンジャーモード時に、ランダム演奏をします。

各部の名称とはたらき

本体部(操作パネルを開いた状態)

ご注意

以下のボタンは、操作パネルを閉じた状態では、使用できません。オープンボタンを押して操作パネルを開き、表示を見ながら操作してください。

VSEボタン

- VSE/ポジションモードを選択します。
- 押し続けると(約1秒間)VSE/ポジションモードをON/OFFします。

PLⅡボタン

- ドルビープロロジックⅡモードを選択します。

EQボタン

- EQモード/音質調整モード(BASS/TREB)を選択します。
- 押し続けると(約1秒間)EQモードをON/OFFします。

タイトルボタン

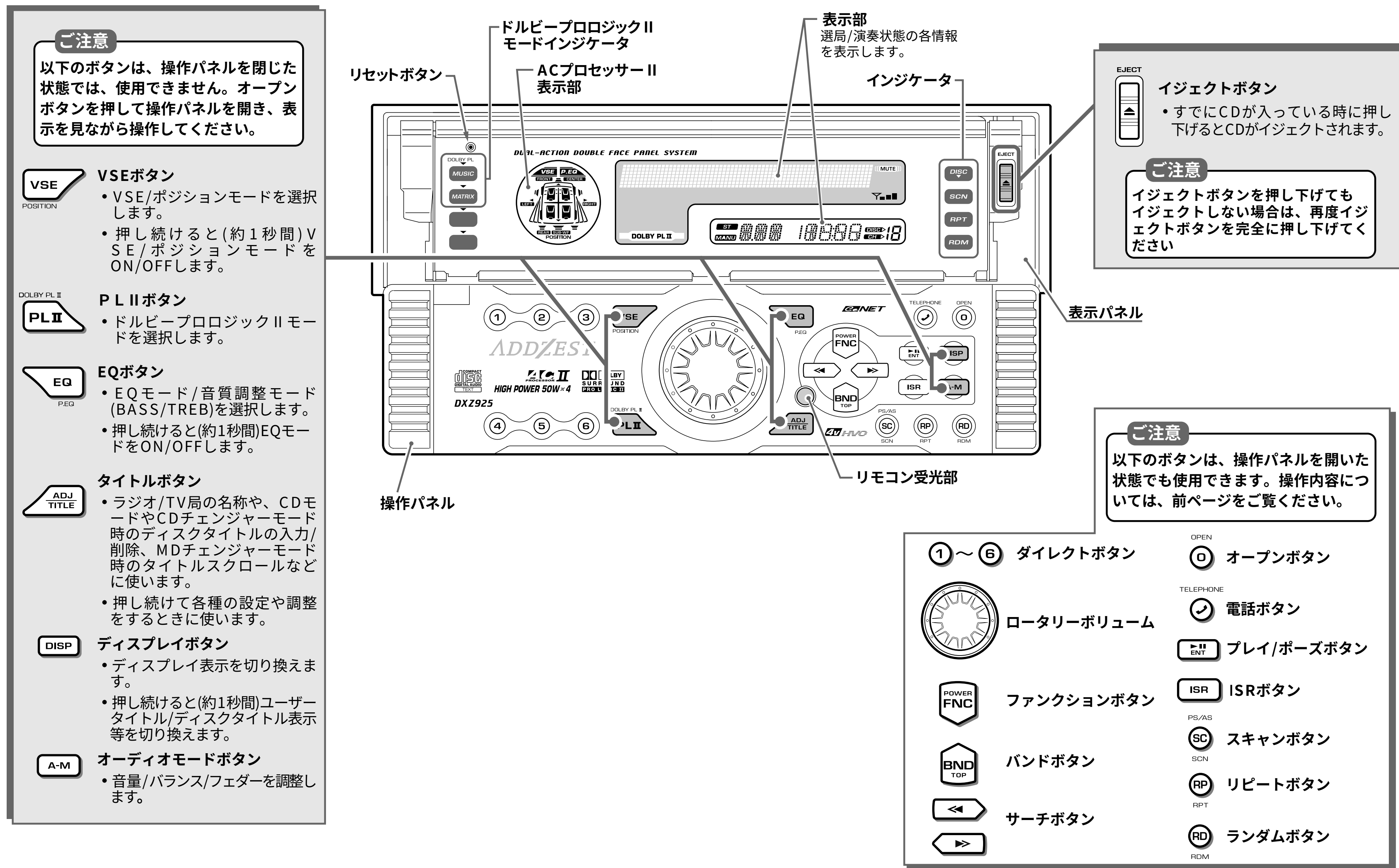
- ラジオ/TV局の名称や、CDモードやCDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除、MDチェンジャーモード時のタイトルスクロールなどに使います。
- 押し続けて各種の設定や調整をするときに使います。

ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続けると(約1秒間)ユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。

オーディオモードボタン

- 音量/バランス/フェダーを調整します。



イジェクトボタン

- すでにCDが入っている時に押し下げるとCDがイジェクトされます。

ご注意

イジェクトボタンを押し下げてもイジェクトしない場合は、再度イジェクトボタンを完全に押し下げてください

ご注意

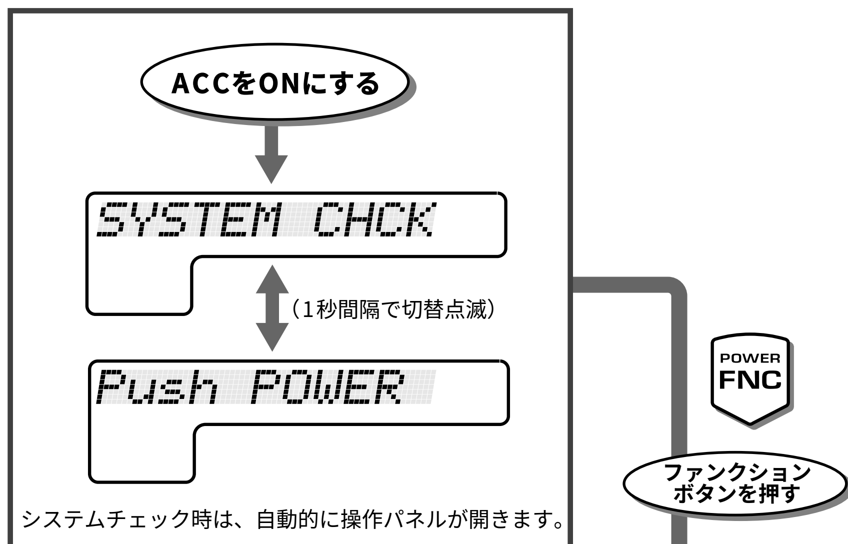
以下のボタンは、操作パネルを開いた状態でも使用できます。操作内容については、前ページをご覧ください。

- ①〜⑥ ダイレクトボタン
- ロータリーボリューム
- ファンクションボタン
- バンドボタン
- サーチボタン
- オープンボタン
- 電話ボタン
- プレイ/ポーズボタン
- ISRボタン
- スキャンボタン
- リピートボタン
- ランダムボタン

本機の操作

各部の名称とはたらき

システムチェック時のディスプレイ表示

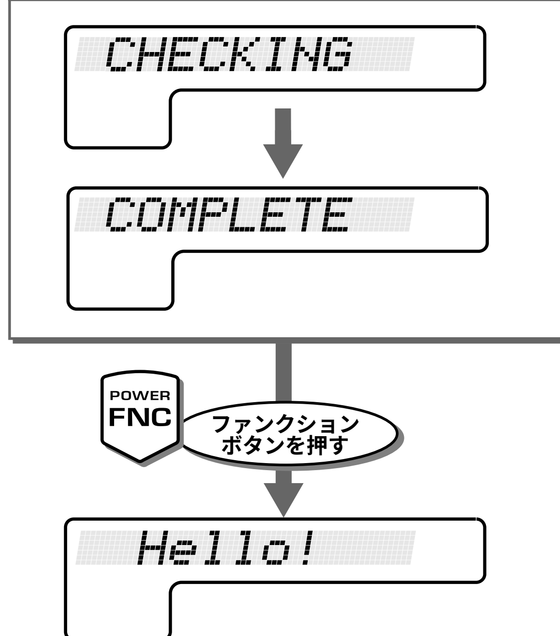


POWER FNC
ファンクションボタンを押す

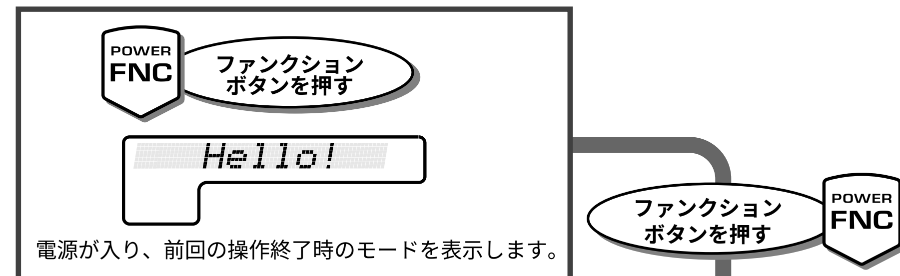
システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。
ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- **本機の取り付け直後に電源を入れたとき**
- **外部機器を接続または取り外したとき**
- **バッテリー交換等で電源が切れたとき**
- **リセットボタンを押したとき**



電源ON/OFF時のディスプレイ表示

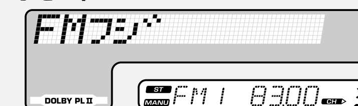


ファンクションボタンを押す
POWER FNC

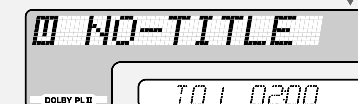
モードを切り換える

ファンクションボタンを押すたびに、次のように切り換わります。(以下の表示は一般的な接続例を示します。)

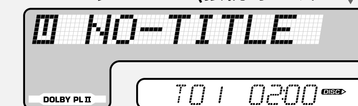
●ラジオモード



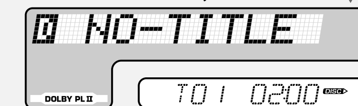
●CDモード



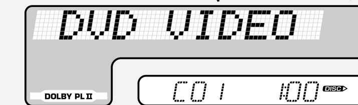
●CDチェンジャーモード(接続時のみ)



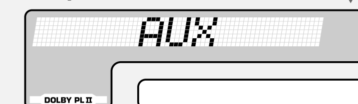
●MDチェンジャーモード(接続時のみ)



●DVDチェンジャーモード(接続時のみ)



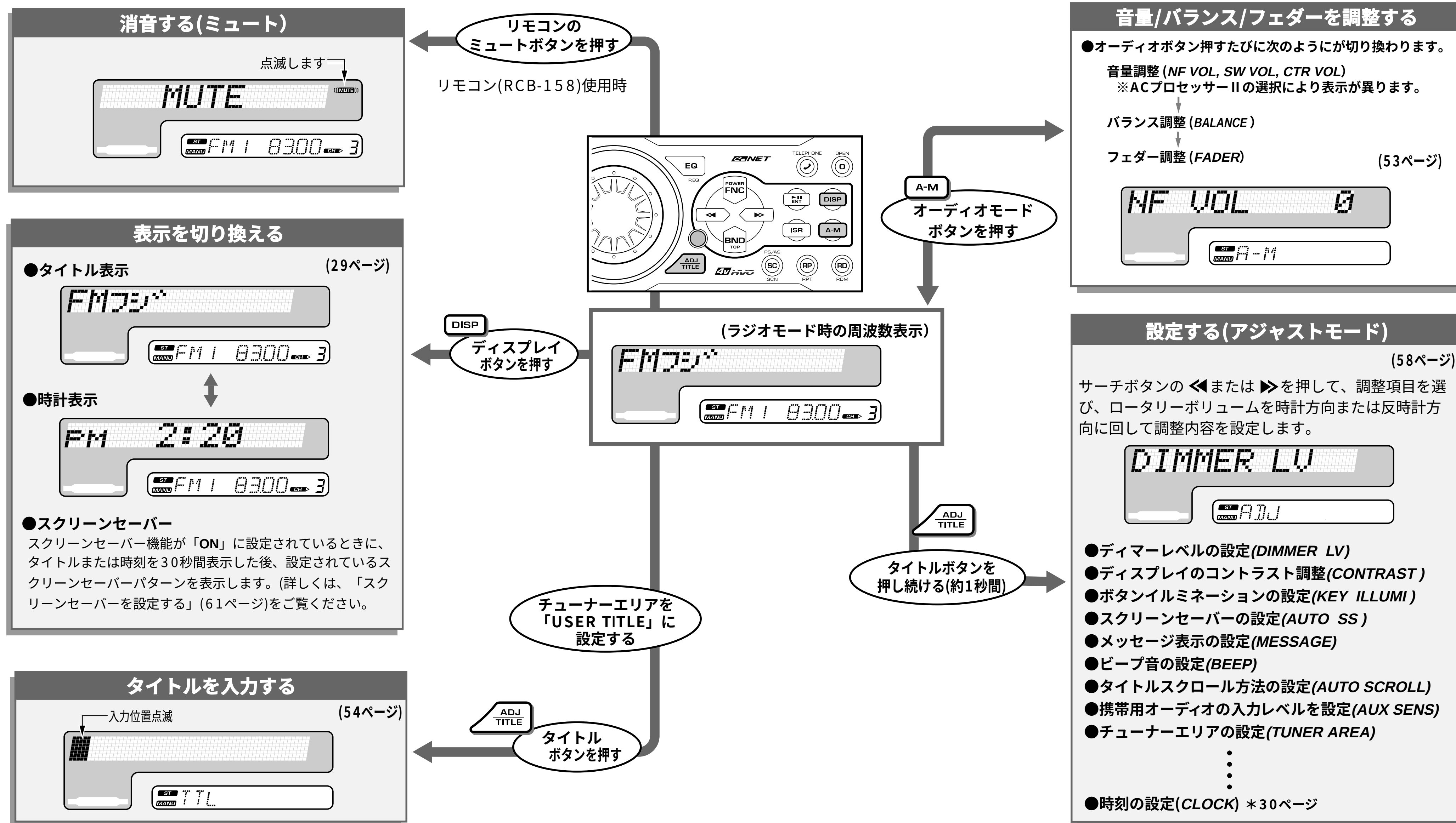
●AUXモード





本機の操作

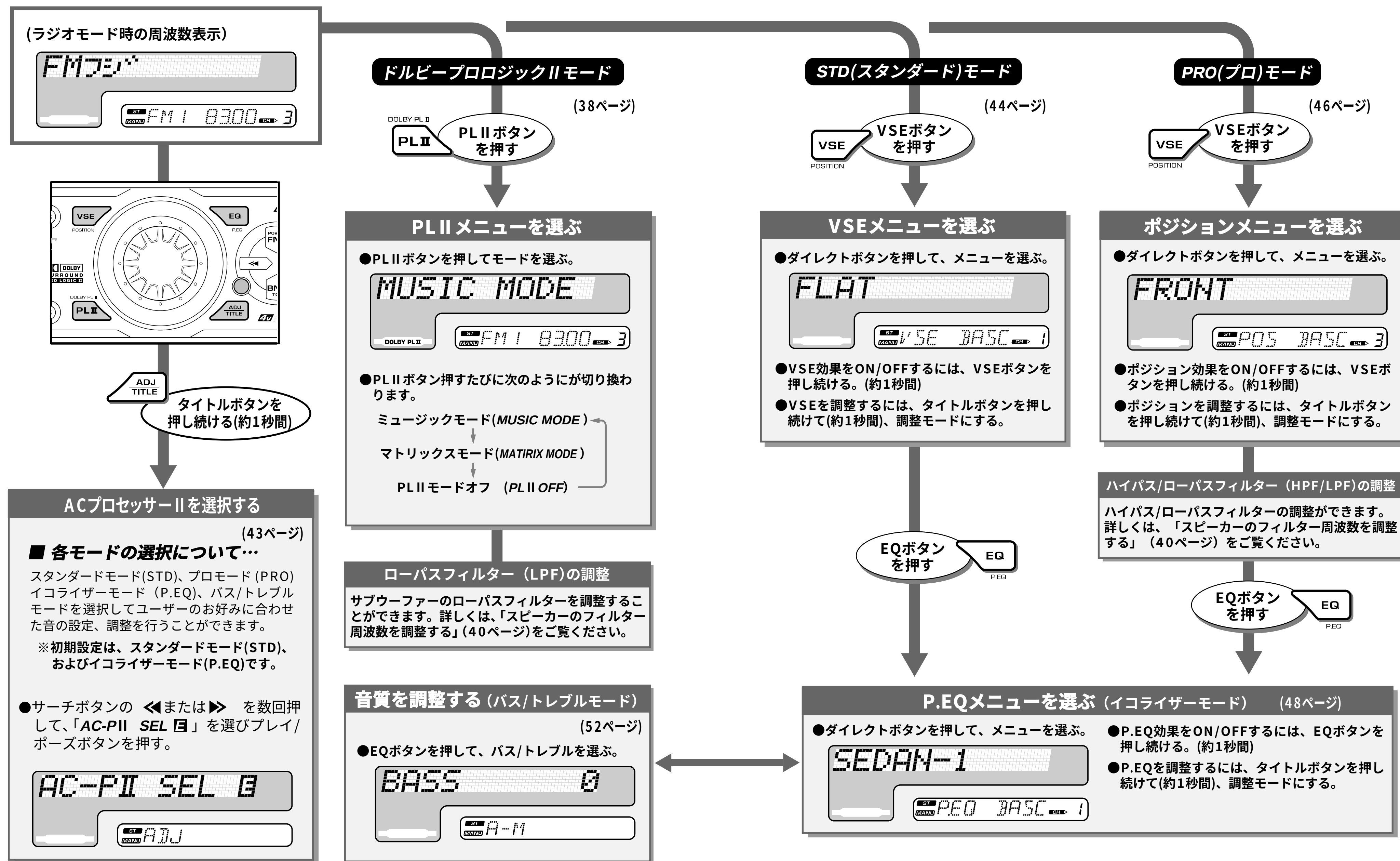
各種設定/調整時のディスプレイ表示



本機の操作

各部の名称とはたらき

ACプロセッサーIIの選択/調整時のディスプレイ表示

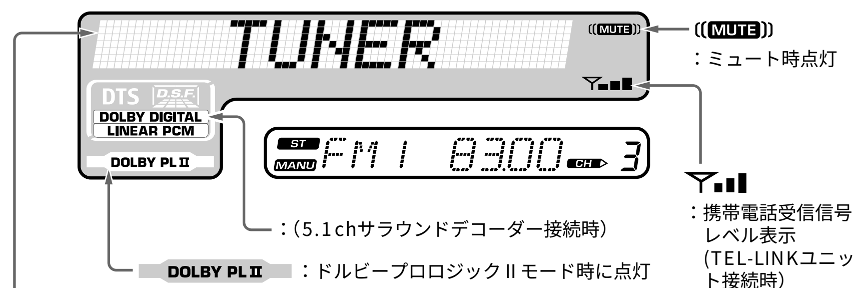


本機の操作

各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示



(((MUTE)))
：ミュート時点灯

：携帯電話受信信号レベル表示(TEL-LINKユニット接続時)

：(5.1chサラウンドデコーダー接続時)

DOLBY PL II ：ドルビープロロジックIIモード時に点灯

◆タイトル表示部

• **モード表示**（モード切換時に表示します）

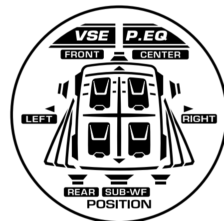
TUNER	：ラジオモード
CD	：CDモード
CD A/C-1	：CDチェンジャーモード
MD A/C-1	：MDチェンジャーモード
DVD A/C	：DVDチェンジャーモード
TV	：TVモード
AUX	：AUXモード

• **タイトル表示**

各モードにおける放送局名やディスクタイトル等を表示します。
詳しくは、次ページ以降の各モード表示をご覧ください。

• **スクリーンセーバー**

スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。
詳しくは「スクリーンセーバーを設定する」(61ページ)をご覧ください。



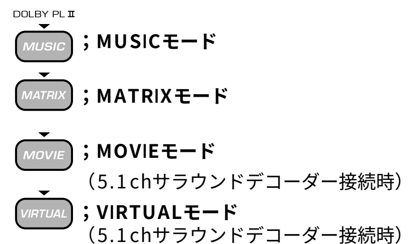
◆ACプロセッサーII表示部

VSE **；スタンダードモード**
；VSEモード

POSITION **；プロモード**
；ポジションモード

P.EQ **；イコライザーモード**
；P.EQモード

◆ドルビープロロジックIIインジケータ



；MUSICモード

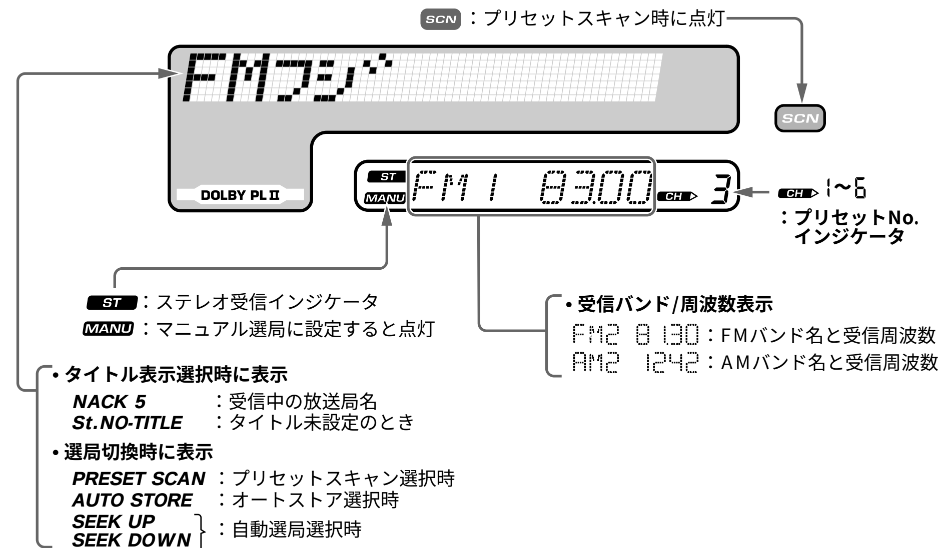
；MATRIXモード

；MOVIEモード
（5.1chサラウンドデコーダー接続時）

；VIRTUALモード
（5.1chサラウンドデコーダー接続時）

■ラジオモード時の表示

SCN ：プリセットスキャン時に点灯



CH 1～6
：プリセットNo.インジケータ

ST ：ステレオ受信インジケータ
MANU ：マニュアル選局に設定すると点灯

• **受信バンド/周波数表示**
FM2 8 130：FMバンド名と受信周波数
AM2 1242：AMバンド名と受信周波数

• **タイトル表示選択時に表示**

NACK 5	：受信中の放送局名
St.NO-TITLE	：タイトル未設定のとき

• **選局切換時に表示**

PRESET SCAN	：プリセットスキャン選択時
AUTO STORE	：オートストア選択時
SEEK UP / *SEEK DOWN*	：自動選局選択時

■CDモード時の表示

SCN ：スキャン演奏のときに点灯
RPT ：リピート演奏のときに点灯
RDM ：ランダム演奏のときに点灯



演奏トラックNo./演奏時間表示（分、秒）

• **タイトル表示選択時に表示**
DISTANCE（入力例）：ユーザータイトル入力時に表示
U *NO-TITLE* ：CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
D *NO-TITLE* ：CDにおけるディスクタイトル未設定のとき
A *NO-TITLE* ：CDにおけるアーティスト名未設定のとき
T *NO-TITLE* ：CDにおけるトラックタイトル未設定のとき

• **選曲切換時に表示(約2秒間)**

Tr-SCAN	：スキャン演奏選択時
Tr-REPEAT	：リピート演奏選択時
Tr-RANDOM	：ランダム演奏選択時

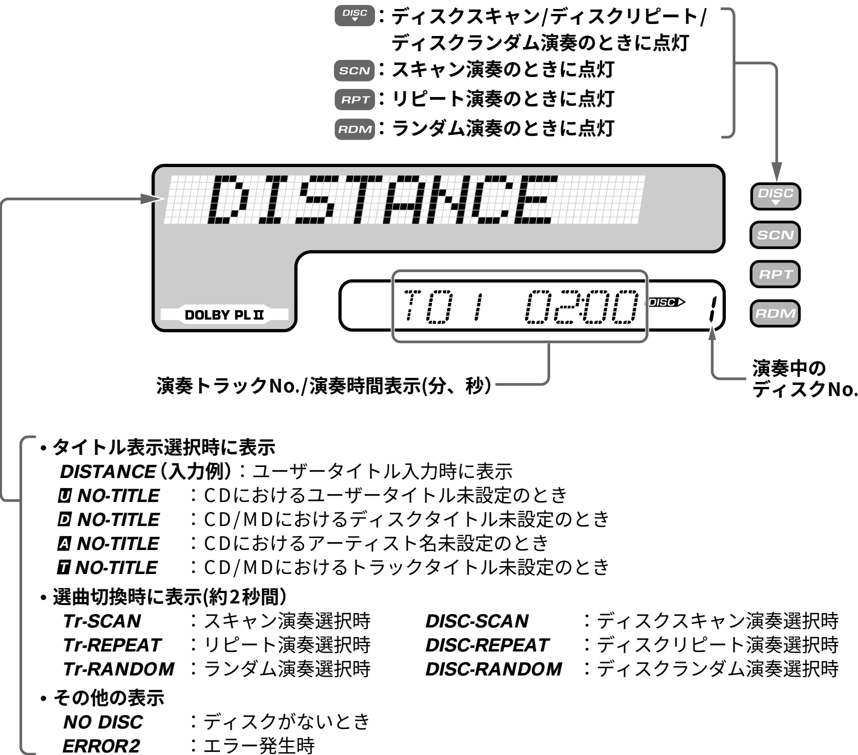
• **その他の表示**

NO DISC	：ディスクがないとき
ERROR2	：エラー発生時

各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■CD/MDチェンジャーモード時(接続時)の表示



■DVDチェンジャーモード時(接続時)の表示



■TVモード時(接続時)の表示



本機の操作

リモコン(RCB-158)の使いかた

モードを選ぶ
ファンクションボタン

●電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → (MDデッキ) → (DVDデッキ) → (CDチェンジャー) → (MDチェンジャー) → (DVDチェンジャー) → (TV) → AUX → ラジオ

●押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する
▲▼ (ボリューム)ボタン

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える
バンドボタン

●最初の曲から演奏します。(CDモード時)
●受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する
バンドボタン

●次のCD(またはMD)を演奏します。(チェンジャーモード時)

音を消す
ミュートボタン

●ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す
ISRボタン

●ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。
●元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

表示を切り換える
ディスプレイボタン

●次のように表示を切り換えます。

タイトル表示 ⇄ 時計表示

●タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。
・CDテキスト再生時は、ユーザータイトル→ディスクタイトル→アーティスト名→トラックタイトルを切り換えます。
・MD再生時は、ディスクタイトル→トラックタイトルを切り換えます。

演奏する
▶/II (プレイ・ポーズ)ボタン

●演奏と一時停止をします。
(CDモード、チェンジャーモード時)

選曲する/選局する
⏪ ⏩ サーチボタン

●押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。
押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。
(CDモード、チェンジャーモード時)
●プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ/TVモード時)

曲を探す/放送局をプリセットする
スキャンボタン

●スキャン演奏します。
(CDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。
(チェンジャーモード時)
●プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)
●また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)
●解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

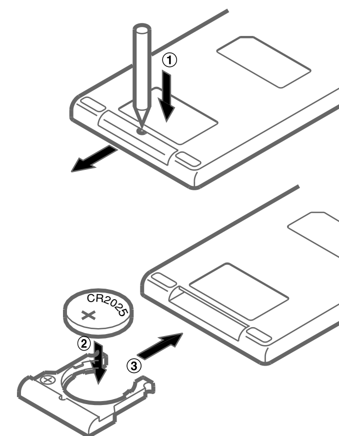
繰り返し演奏する
リピートボタン

●繰り返し演奏します。
(CDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(チェンジャーモード時)
●TVモード時にステレオ/モノラルに切り換えます。
●解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える
ランダムボタン

●ランダム演奏します。
(CDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(チェンジャーモード時)
●TVモード時にTVをVTRに切り換えます。
●解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。

■**電池の入れかた**
①リモコンを裏返して、先のとがった物を矢印の方向に押しながら、ふたを引き出します。
②付属の電池(CR2025)を図のような向きにして入れます。
③「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



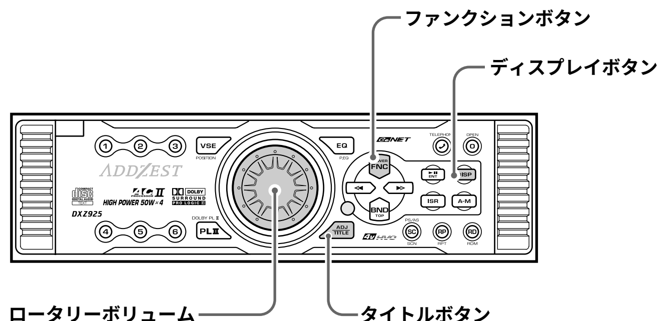
⚠警告

事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。
- **指定電池以外は使用しない。**
- **電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。**
- **電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。**
- **使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。**

基本の操作



電源を入れる

システムチェックついて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れるとディスプレイに“ ***SYSTEM CHCK*** ”が表示されますので、ファンクションボタンを押してください。本機の内部で、システムチェックが始まります。システムチェックが終わると、電源OFFの状態になりますので、もう一度ファンクションボタンを押してください。(詳しくは16ページをご覧ください。)

1 ファンクションボタンを押す



→前回の操作終了時のモードが表示されます。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

ファンクションボタンを押し続けてください。(約1秒間)

■ 時刻の設定は、30ページをご覧ください。

■ コントラストの調整は、60ページをご覧ください。

モードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押す



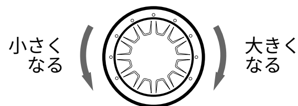
→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → (MDデッキ) → (DVDデッキ)
↓
(CDチェンジャー)
↓
(MDチェンジャー) → (DVDチェンジャー) → (TV) → AUX → ラジオ

• 接続していない機器のモードは表示されません。

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して音量を調整する





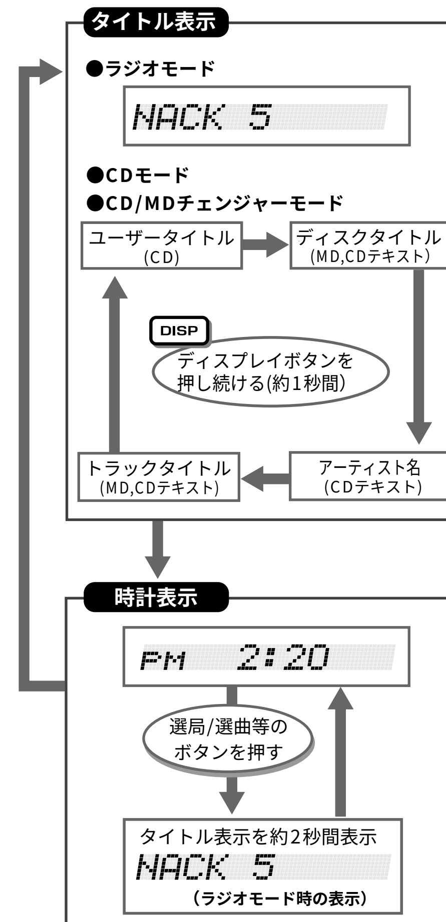
運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

表示を切り換える

1 ディスプレイボタンを押して表示を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。



スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「**ON**」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を一定時間表示した後、スクリーンセーバーを表示します。詳しくは61ページをご覧ください。

タイトル表示を切り換える

タイトル表示について…

CDモード/CDチェンジャーモードにおけるCDテキスト再生時、MDチェンジャーモードにおけるMD再生時に、ディスクに登録されているディスクタイトル、トラックタイトル、アーティスト名(CDテキストのみ)をディスプレイに表示します。

1 タイトル表示をしているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



→押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。

•CDモード/CD/MDチェンジャーモード



タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

「タイトルスクロール方法を設定する」(63ページ)の設定を「***OFF***」したときの操作手順です。

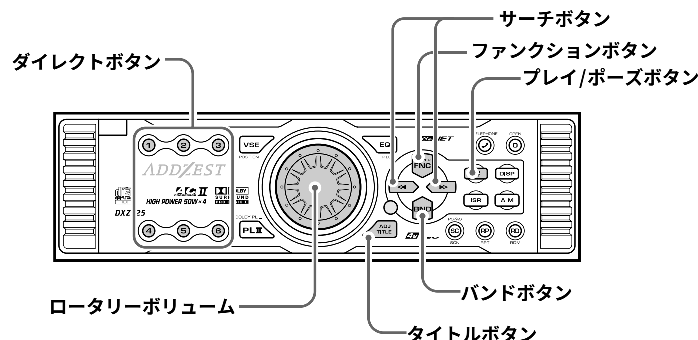
1 タイトル表示をしているときに、タイトルボタンを押す



→タイトルが左にスクロールします。

ご注意

CDモード、CDチェンジャーモードで「USER TITLE」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。このときタイトルボタンを押すと、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。



時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時（ACC ON時）に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

- **ナビゲーション接続時は時刻データーがナビゲーションから送られてくるため時刻の調整はできません。**

1 タイトルボタンを押し続ける（約1秒間）



→ディスプレイに「*DIMMER LV*」を表示します。

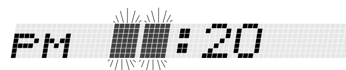
2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*CLOCK* E」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



→調整時点（「*PM 2:20*」等）の時刻を表示し、時刻設定モードになります。



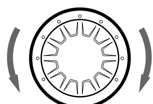
•時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、時または分を選ぶ



→点滅している項目が調整できます。

5 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、時刻を合わせる



6 プレイ/ポーズボタンを押す



→ビープ音が「ピー」と鳴って、時刻が設定されます。

ご注意

- **電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。**
- **点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう1度、時刻合わせをしてください。**

7 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



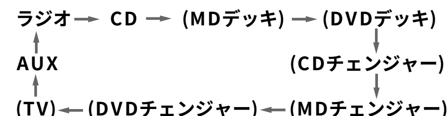
ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。



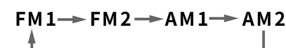
• 接続していない機器のモードは表示されません。

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、受信バンドを切り換える



→押すたびに、次のように切り換わります



自動選局する（シーク選局）

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける（約1秒間）



→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する（マニュアル選局）

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける（約1秒間）



→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、放送のあるところに合わせる



→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続ける（約1秒間）と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 ダイレクトボタン（1～6）を押して、聴きたい放送局を選ぶ

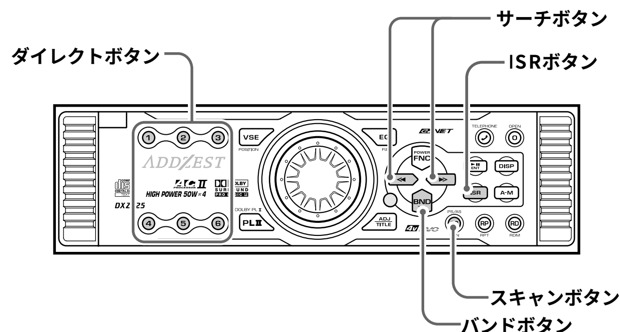


→ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

ご注意

ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

ラジオ放送を聴く



プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ



2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



3 メモリーさせたいダイレクトボタン（1～6）を押し続ける（約2秒間）

①～⑥

→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

自動メモリーする（オートストア機能）

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 スキャンボタンを押し続ける（約2秒間）



→タイトル表示部に「***AUTO STORE***」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン（1～6）に登録されていきます。

ご注意

- **自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。**
- **登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。**

放送を確かめる（プリセットスキャン）

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 スキャンボタンを押す



→タイトル表示部に「***PRESET SCAN***」を表示しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

スキャンボタンを押し続けると（約2秒間）、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう1度、スキャンボタンを押してください。

→スキャンボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する（ISR機能）

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。
（初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています）

1 ISRボタンを押す



→ディスプレイに「***ISR 1620***」を表示します。

- ユーザータイトルが設定されていないときは、「***St.NO-TITLE*** 」を表示します。

■ 元のモードに戻すには…

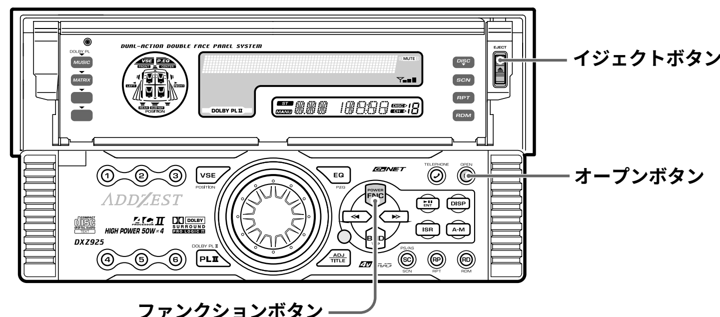
もう1度、ISRボタンまたは ファンクションボタンを押してください。

■ ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、ISRボタンを押し続けます（約2秒間）。

→ISRにメモリーされます。

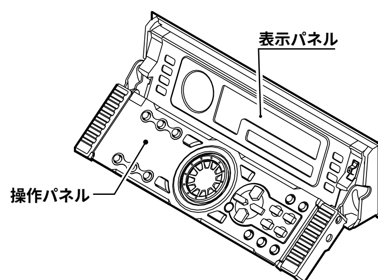
CDを聴く



CDを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCがONであればオープンボタンを押すと、操作パネルが開きます。さらにイジェクトボタンを押してからディスクを入れると自動的に電源が入り、演奏をはじめます。



デュアルアクションについて…

ヒューマンマシンインターフェイスを追求した新開発電動機構の"デュアルアクション"を採用。1DINスペースながら「マルチウインドウを採用した1DINサイズの表示パネル」と「1DINサイズの操作パネル」を装備し、大型表示と使い易いボタン配列を実現しました。

⚠注 意

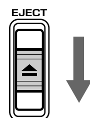
- **操作パネル開閉時およびＣＤ挿入口に、指や手などを挟まないようご注意してください。**
- **セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。**

1 オープンボタンを押す

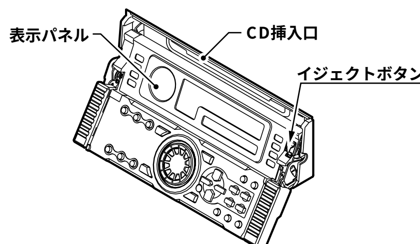


→操作パネルが開きます。

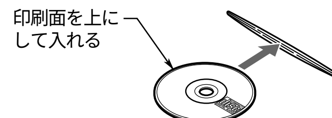
2 イジェクトボタンを押し下げる



→表示パネルが開き、CD挿入口が見えます。



3 CD挿入口にCDを入れる



→CDを入れると、数秒後に表示パネルが自動的に閉まり、演奏が始まります。

- マークのないCDやCD-ROMは、本機では使用できません。
- CD-R/CD-RW で記録されたディスクは、使用できない場合があります。

ご注意

ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機にディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

シングルCD(8cmCD)について…

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

CDを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

エンジンキーまたはACCがOFFの状態からでもオープンボタンを押し、さらにイジェクトボタンを押すと、CDを取り出すことができます。

ご注意

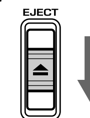
- **ディスクを取り出した後、オープンボタンを押して、表示パネルを閉めてください。開いたままにしておくと、約３０秒後にビープ音が鳴り、自動的に閉まりますのでご注意ください。**
- **イジェクトボタンを押し下げてもイジェクトしない場合は、再度イジェクトボタンを完全に押し下げてください。イジェクト動作が不完全ですと、スロープ機構が途中で停止し故障の原因となります。**

1 オープンボタンを押す



→操作パネルが開きます。

2 イジェクトボタンを押し下げる



→表示パネルが開き、CDがイジェクトされます。

- イジェクトされたＣＤは、必ず取り出してください。CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれポーズ状態になります。(オートリロード機能)
プレイ/ポーズボタンを押すと演奏が始まります。
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

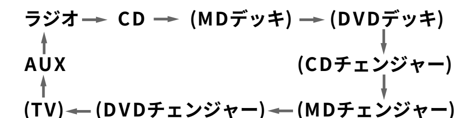
イジェクトしたままの状態から無理にディスクを押し込むと、ディスク表面にキズを付ける恐れがありますので、一度ディスクを取り出してから挿入してください。

すでに入っているCDを聴く

1 ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ



→CDモードになると、自動的に演奏が始まります。

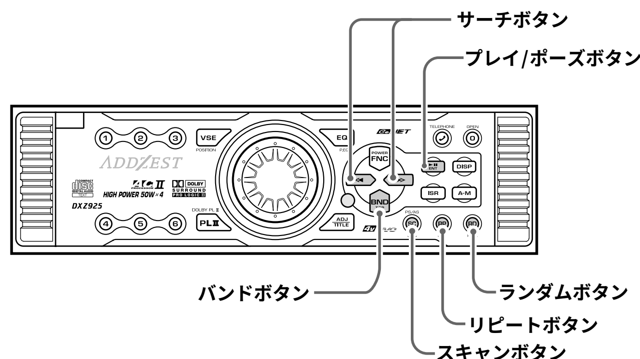


- 接続していない機器のモードは表示されません。

■ MD/DVDデッキ接続時の操作について…

本機にMD/DVDデッキを接続したときは、モードをMDまたはDVDデッキモードに切り換えることにより、本機で操作することができます。(操作方法は、CDの操作と同様です。)

本機の操作



曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの▶▶を押す

2 前の曲を聴くときは、サーチボタンの◀◀を2回押す



→▶▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→◀◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの▶▶を押し続ける

2 早戻しするときは、サーチボタンの◀◀を押し続ける



演奏を止める(一時停止する)

1 プレイ/ポーズボタンを押す



→タイトル表示部に「*PAUSE*」を表示します。

■続けて演奏を聴きたいときには…

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…
演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 バンドボタンを押す



→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…
ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す



→表示パネルの「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「*Tr-SCAN*」を表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→表示パネルの「SCN」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



→表示パネルの「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「*Tr-REPEAT*」を表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…

もう1度リピートボタンを押してください。

→表示パネルの「RPT」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について…
ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す



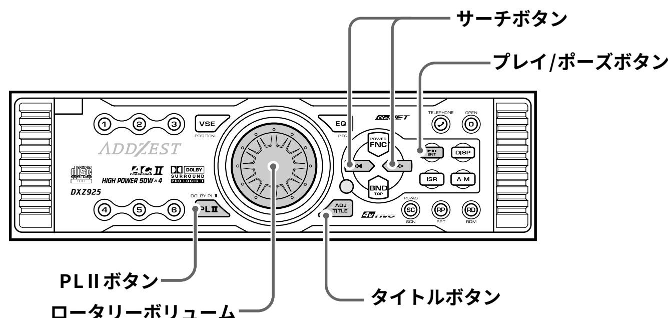
→表示パネルの「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「*Tr-RANDOM*」を表示して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには…

もう1度ランダムボタンを押してください。

→表示パネルの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

PL IIの操作(ドルビープロロジックIIモード)



ドルビープロロジックIIについて



● ドルビープロロジックIIは最新のデジタルマトリクス技術を応用し、これまでのドルビープロロジックをさらに改良したマトリクスデコード技術です。
ドルビーサラウンドソースをはじめ、CDのようなステレオ音源に対しても優れた5.1ch再生を実現します。
サラウンドチャンネルはフルバンド化(20Hz～20kHz)ステレオ化され、あらゆるステレオ音源は、5.1chの迫力あるサウンドでお楽しみいただけます。再生するソースに合わせてMUSICモード、MATRIXモードが選べます。

※ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ご注意

プロモード「*PRO* 」/スタンダードモード「*STD* 」およびイコライザーモード「*P.EQ* 」からドルビープロロジックIIモードに切り換えた場合、ドルビープロロジックIIの特性上、音量が小さくなります。
ドルビープロロジックIIモードから他のモードに切り換えるときは、音量を下げてから切り換えてください。

PL IIメニューを選ぶ

ドルビープロロジックIIモードについて…

• **初期設定は「*PL II OFF*」です。**

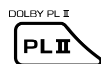
■***MUSIC MODE (ミュージックモード)***

• CDなどのステレオ音源に適したモードです。
• 音楽ソースの録音状態により音場の広がり感が異るためさらに細かな調整を可能とする調整モードがあります。(42ページ参照)

■***MATRIX MODE (マトリックスモード)***

• AM/FMラジオなどの音源に適したモードです。

1 **PL IIボタンを押して「*MUSIC MODE* 」または「*MATRIX MODE*」を選ぶ**



→押すたびに、次のように切り換わります

ミュージックモード(*MUSIC MODE*)
▼
マトリックスモード(*MATIRIX MODE*)
▼
PL IIモードオフ(*PL II OFF*)

■***センタースピーカー/サブウーファーの音量調整については、53ページをご覧ください。***

初期設定を変更する(アジャストモード)

スピーカーを設定する(SP-SETTING)

スピーカー設定について…

本機の音響特性を最大限に発揮させるために、ご自分の車のスピーカー構成に合わせて に設定してください。

• **初期設定は、「*SW* L+*SW* R」です。**

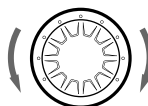
1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*SP-SETTING*」を選ぶ**



3 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、スピーカー構成を設定する**



→回すたびに次のように切り換わります。

● **スピーカー構成**

CTR+SW 5.1ch構成	フロント/リアスピーカー(4ch) センタースピーカー(1ch) サブウーファー(1ch)
SW L *+SW* R 4ch+サブウーファー構成	フロント/リアスピーカー(4ch) サブウーファー(2ch)

ご注意

• **「*CTR+SW* 」設定時、ドルビープロロジックIIモード以外では、センタースピーカーから音声は出力されません。**
• **「*SW* L *+SW* R」設定時、ドルビープロロジックIIモードでは、サブウーファーLchから音声は出力されません。**

4 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



スピーカーの有無を設定する(SP-SEL)

センタースピーカー、サブウーファーの有無を設定します。

• **初期設定は、「*ON*」です。**

ご注意

センタースピーカーおよびサブウーファーが無い場合は、必ず設定を「*OFF*」にしてください。

1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*SP-SEL* E」を選ぶ**



3 **プレイ/ポーズボタンを押す**



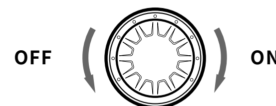
→スタンダードモード選択時は、「***NON-FADER***」
プロモード選択時は、「***SUB-WOOFER***」を表示します。

4 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して「*CENTER-SP*」および「*SUB-WOOFER*」を選ぶ**

→「***CENTER-SP***」表示は、ドルビープロロジックIIモード選択中に表示します。
また、「***SP-SETTING***」の設定を「***CTR+SW***」に設定した場合に表示します。



5 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「*ON*」または「*OFF*」を選ぶ**



6 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



初期設定を変更する(アジャストモード)

スピーカーのフィルター周波数を調整する(FILTER)

フィルター周波数について…

使用するスピーカーにあったフィルター周波数を設定します。

- **ドルビープロロジックⅡモード選択時は、「*SUB-W LPF*」の調整ができます。**
- **プロモード選択時は、「*HPF*」および「*SUB-W LPF*」の調整ができます。**
- **初期設定は、「*THRGH*」、「*OFF*」です。**

■フィルター調整について

・*HPF*（ハイパスフィルターの調整）

フロント/リアスピーカーから低域の音をカットします。

50Hz,80Hz,120Hz

小口径スピーカーを使用するとき設定します。

THRGH

低音再生が可能なスピーカーを使用するとき設定します。

・*SUB-W LPF*（サブウーファーローパスフィルターの調整）

サブウーファーから高域の音をカットします。（※1）

50Hz,80Hz,120Hz

サブウーファーに合わせてフィルター周波数を設定します。

OFF

ローパスフィルター内蔵パワードサブウーファー使用するとき設定します。

（※1）「*SUB-W LPF*」の調整は、「*SP-SEL*」設定の「*SUB-WOOFER*」を「*OFF*」に設定した場合には調整できません。（39ページ参照）

1 タイトルボタンを押し続けて（約1秒間）、アジャストモードにする



2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*FILTER* E」を選ぶ



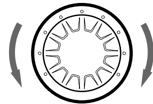
3 プレイ/ポーズボタンを押す



4 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して「*HPF*」および「*SUB-W LPF*」を選ぶ（プロモード選択時のみ）



5 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、周波数を設定する



•「***HPF***」の調整範囲は THRGH,50Hz,80Hz,120Hz です。

•「***SUB-W LPF***」の調整範囲は OFF,50Hz,80Hz,120 Hzです。

6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



スピーカーの出力レベルを調整する(SP-GAIN)

スピーカー出力レベルについて…

本機に内蔵のテストトーン機能を使用して、各スピーカーから出力される音量が、全て同じレベルになるように調整してください。

- **ドルビープロロジックⅡモード選択時のみ設定できます。**
- **初期設定は、「*0dB*」です。**

ご注意

ゲイン調整は、ラジオ/TV受信中またはCD演奏中に調整してください。

1 タイトルボタンを押し続けて（約1秒間）、アジャストモードにする



2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*SP-GAIN* E」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



4 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、各調整項目を選ぶ



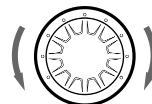
→押すたびに、次のように切り換わります。

●調整項目

FRONT L（フロント左スピーカー）
▼
CENTER（センタースピーカー）（※1）
▼
FRONT R（フロント右スピーカー）
▼
SURROUND R（リア右スピーカー）
▼
SURROUND L（リア左スピーカー）

（※1）「*CENTER*」表示は、「*SP-SETTING*」の設定を「*CTR+SW*」に設定し、「*SP-SEL*」の設定を「*ON*」に設定した場合に表示します。（39ページ参照）

5 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



• スピーカーゲインの調整範囲は−10dB〜+10dB です。

6 手順4〜5を繰り返して各調整項目を調整する

7 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



リアスピーカーのディレイ時間を調整する(PLⅡ DELAY)

ディレイ時間について…

リアスピーカーの取付位置や車の大きさによって、リスニング位置に届く音のタイミングが異なります。リアスピーカーのディレイ時間を調整することにより、フロントスピーカーの出力と同じタイミングで聴こえるように調整することができます。

- **ドルビープロロジックⅡモード選択時のみ設定できます。**
- **初期設定は「*0ms*」です。**

1 タイトルボタンを押し続けて（約1秒間）、アジャストモードにする



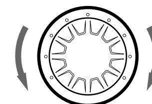
2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*PLⅡ DELAY* E」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、ディレイ時間を調整する



•「***SRD-SP***」の調整範囲は 0ms〜15msです。

5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



初期設定を変更する(アジャストモード)

ミュージックモードを細かく設定する(PLⅡ CONT)

PLⅡメニューのミュージックモードを選択した場合に、さらに細かく調整することができます。

- **ドルビープロロジックⅡモード選択時のみ設定できます。**
- **初期設定は、パノラマ「*N*」、ディメンジョンセンターワイズ「*3*」です。**

■*各調整項目について*

・*PANORAMA*（パノラマコントロールの設定）
フロントの音場イメージをリアスピーカーまで拡大します。サラウンド効果がないと感じられる場合に、「*Y*」(Yes)に設定してください。

・*DIMENSION*（ディメンジョンの設定）
音場イメージをフロント側またはリア側にシフトします。音場イメージがフロント・リア側のいずれかに偏った場合に、それらを補正することができます。

調整値3が中心位置です。調整値3～0でフロント側にシフトし、調整値3～6でリア側にシフトします。

・*CTR WIDTH*（センターワイズの設定）（※1）
センターチャンネルの定位をセンタースピーカーからフロントスピーカーL/Rの間で調整します。
センター音を左右に振り分けることにより、全体の音場イメージが増し自然な広がり感を得ることができます。

調整値0は、全てのセンター音をセンタースピーカーで再生します。
調整値7は、現行のステレオ音声同様、センター音をフロントスピーカーL/Rに振り分けます。

（※1）「*CTR WIDTH*」の表示は、「*SP-SETTING*」の設定を「*CTR+SW*」に設定し、「*SP-SEL*」の設定を「*ON*」に設定した場合に表示します。**（39ページ参照）**

1 タイトルボタンを押し続けて（約1秒間）、アジャストモードにする



2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*PLⅡ CONT* E」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



4 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、各調整項目を選ぶ

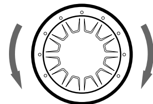


→押すたびに、次のように切り換わります。

●調整項目

PANORAMA
▼
DIMENSION
▼
CTR WIDTH
（→ *PANORAMA* に戻る）

5 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する

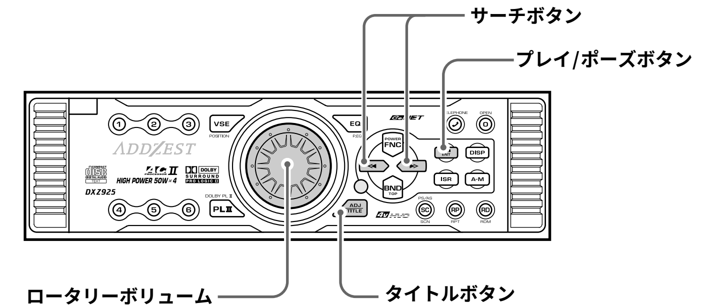


- 「*PANORAMA*」の設定をY(Yes)/N(No)します。
- 「*DIMENSION*」の調整範囲は 0～6です。
- 「*CTR WIDTH*」の調整範囲は 0～7です。

6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



各モードを選択する



モード選択について･･･

- **ドルビープロロジックⅡモード選択時は、設定できません。**
- **初期設定はスタンダードモード「*STD*」およびイコライザーモード「*P.EQ*」です。**

■*スタンダードモード＜STD＞*
VSEによって音質音場が調整できます。

■*プロモード＜PRO＞*
ポジションによって音質音場が調整できます。

■*イコライザーモード＜P.EQ＞*
P.EQによって音質音場が調整できます。

■*バス/トレブルモード*
バス/トレブルによって音質調整ができます。

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイに「*DIMMER LV*」を表示します。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して「*AC-PⅡ SEL* E」を選ぶ



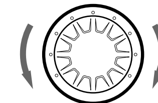
3 プレイ/ポーズボタンを押す



4 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して「*PRO / STD SEL*」または「*EQ SELECT*」を選ぶ



5 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、モードを選択する



→回すたびに、次のように切り換わります。

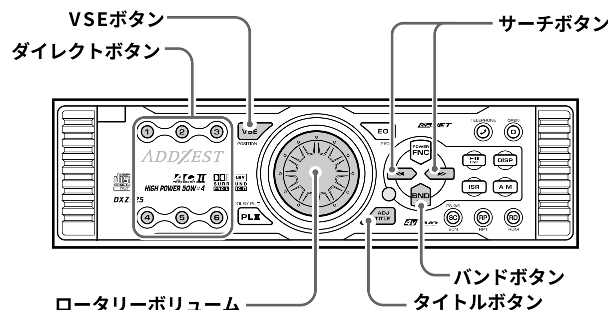
● モード選択

PRO/STD SEL	*AC-PⅡ STD* ・スタンダードモード（VSEメニュー）
	AC-PⅡ PRO ・プロモード（ポジションメニュー）
EQ SELECT	*EQ P.EQ* ・イコライザーモード（P.EQメニュー）
	EQ BAS/TREB ・バス/トレブルモード

6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



VSEの操作(スタンダードモード)



VSEメニューを選ぶ

VSE(バーチャル・スペース・エンハンサー)について…

車室シミュレーションで、どの座席に座っていても同じ音響効果が得られるように、車室内の音圧分布の補正が行えます。

「ACプロセッサーⅡを選択する」(43ページ)の手順でスタンダードモード(STD)に切り換えてください。

1 VSEボタンを押して、VSEモードにする



2 バンドボタンを押してベーシックを選ぶ



→押すたびに「***VSE BASC***」(ベーシック)または「***VSE USER***」(ユーザー)に切り換わります。

3 ダイレクトボタンを押して、VSEメニューを選ぶ

①～⑥

● VSE ベーシックメニュー

ボタン	機能名	内容
①	***FLAT***(フラット)	原音、フラットイコライジング
②	***BASS BOOST***(バスブースト)	重低音増強
③	***HIGH BOOST***(ハイブースト)	中高音域増強
④	***IMPACT***(インパクト)	低音域と高音域を増強
⑤	***ACOUSTICAL***(アコースティカル)	中音域(人の声)増強
⑥	***SMOOTH***(スムーズ)	しっとりと落ち着いた感じ

4 VSEボタンを押して、元のモードに戻る



VSE効果をON/OFFする

ディスプレイのVSEインジケータ(VSE)が点灯しているときは、VSE効果が「***ON***」に設定されています。

・初期設定は「*ON*」です。
・VSE効果を「*OFF*」に設定すると、「VSEの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 VSEボタンを押し続ける(約1秒間)



→VSEボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

ユーザーメモリについて…

VSEベーシックメニューを基に、お好みに合わせて音圧分布を補正することができます。また調整内容は、6種類までメモリできます。

1 VSEメニューを選ぶ手順(1～3)で、調整のベースにするVSEメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



3 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、調整項目を選ぶ

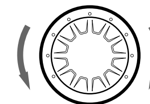


→押すたびに、次のように切り換わります。

●調整項目

DIFFUSE **:広がり感の補正ズレを調整します。**
▼
CAR WIDTH **:車内の幅に対する補正ズレを調整します。**
▼
CAR LENG **:車内の長さに対する補正ズレを調整します。**

4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



• 調整範囲は1～10です。

5 手順3～4を繰り返して各調整項目を調整し終えたら、タイトルボタンを押す



6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)

①～⑥

→ユーザーメニューにメモリーされます。

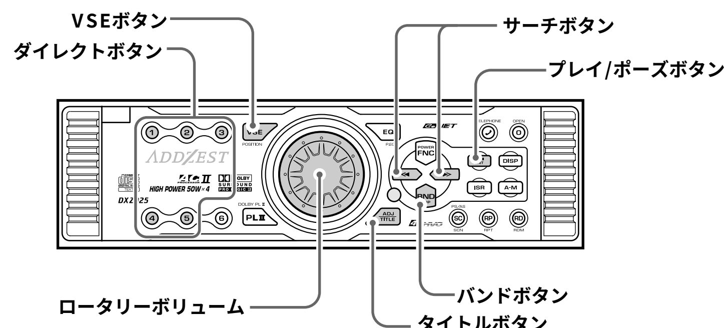
7 VSEボタンを押して、元のモードに戻る



•ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(51ページ)をご覧ください。

本機の操作

ポジションの操作(プロモード)



ポジションメニューを選ぶ

POSITION(ポジション)について…

スピーカーからの音の到着時間を座席位置に合わせて5タイプから選ぶことができます。またタイムアライメント機能で、各スピーカーからリスナーまで同じ音響効果が得られるようにピンポイントなスピーカー設定ができます。

「ACプロセッサーIIを選択する」(43ページ)の手順でプロモード(PRO)に切り換えてください。

1 **VSEボタンを押して、ポジションモードにする**



2 **バンドボタンを押してベーシックを選ぶ**



→押すたびに「***POS BASC***」(ベーシック)または「***POS USER***」(ユーザー)に切り換わります。

3 **ダイレクトボタンを押して、ポジションメニューを選ぶ**

①～⑤

● **ポジション ベーシックメニュー**

ボタン	車種タイプ	座席位置
①	FRONT-L	フロント左シート
②	FRONT-R	フロント右シート
③	FRONT	フロントシート
④	REAR	リアシート
⑤	FULL SEAT	フルシート

4 **VSEボタンを押して、元のモードに戻る**



ポジション効果をON/OFFする

ディスプレイのポジションインジケータ(POSITION)が点灯しているときは、ポジション効果が「***ON***」に設定されています。

- **初期設定は「*ON*」です。**
- **ポジション効果を「*OFF*」に設定すると、「ポジションの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。**

1 **VSEボタンを押し続ける(約1秒間)**



→VSEボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

ポジションを調整(タイムアライメント機能)メモリーする (ユーザーメモリー)

タイムアライメント機能について…

ポジションベーシックメニューを基に、各スピーカーからリスナーまで同じ音響効果が得られるようにピンポイントなスピーカー設定ができます。また調整内容は、5種類までメモリできます。

1 **メニューを選ぶ手順(1～3)で、調整のベースにするポジションメニューを選ぶ**

2 **タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)**



3 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して「*TIME ALIGN* E」または「*SP GAIN* E」を選ぶ**



4 **プレイ/ポーズボタンを押す**

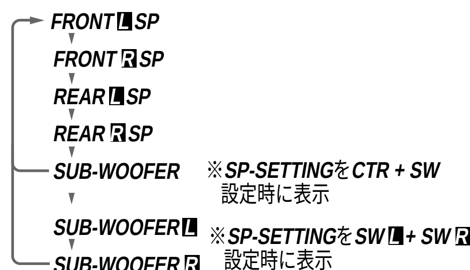


5 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、各調整項目を選ぶ**

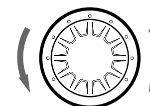


→押すたびに、次のように切り換わります。

● 調整項目



6 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する**



- タイムアライメントの調整範囲は0cm～500cmです。
- スピーカーゲインの調整範囲は－20dB～0dBです。

7 **手順5～6を繰り返して各調整項目を調整する**

8 **プレイ/ポーズボタンを押して、手順3に戻り「*SP GAIN* E」を選び各調整項目を調整する**



9 **各調整項目を調整し終えたら、タイトルボタンを押す**



10 **調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)**

①～⑤

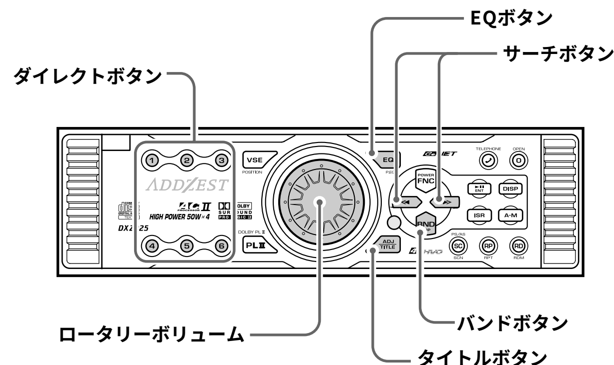
→ユーザーメニューにメモリーされます。

11 **VSEボタンを押して、元のモードに戻る**



- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(51ページ)をご覧ください。

P.EQの操作(イコライザーモード)



P.EQメニューを選ぶ

P.EQ(Parametric Equalizer)について…

車種に合わせた周波数補正により、周波数レベル全域をなめらかなカーブできめ細かく補正することができます。
本機には、あらかじめ車種およびスピーカー取付位置に合わせて6種類のP.EQベーシックメニューがメモリーされています。車種タイプに合わせて設定してください。

「ACプロセッサーⅡを選択する」(43ページ)の手順でイコライザーモード(P.EQ)に切り換えてください。

1 EQボタン押して、P.EQモードにする



2 バンドボタンを押して、ベーシックを選ぶ



→押すたびに「***P.EQ BASC***」(ベーシック)または「***P.EQ USER***」(ユーザー)に切り換わります。

3 ダイレクトボタンを押して、P.EQメニューを選ぶ

①～⑥

● P.EQ ベーシックメニュー

ボタン	車種タイプ	スピーカー取付位置
①	SEDAN-1	フロント；Fドア リア；リアパーセル
②	SEDAN-2	フロント；Fドア リア；Rドア
③	WAGON-1	フロント；Fドア リア；ラゲージ（横）
④	WAGON-2	フロント；Fドア リア；Rドア
⑤	MINI VAN-1	フロント；Fドア リア；ラゲージ（横）
⑥	MINI VAN-2	フロント；Fドア リア；Rドア

4 EQボタンを押して、元のモードに戻る



P.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイのP.EQインジケータ( )が点灯しているときは、P.EQ効果が「***ON***」に設定されています。

・初期設定は「*ON*」です。
・P.EQ効果を「*OFF*」に設定すると、「P.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 EQボタンを押し続ける(約1秒間)



→EQボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

ユーザーメモリについて…

P.EQベーシックメニューを基に、ご自分の車に合わせて周波数特性を補正することができます。また調整内容は、6種類までメモリーできます。

1 P.EQメニューを選ぶ手順(1～3)で、調整のベースにするP.EQメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



3 サーチボタンの≪または≫を押して、調整項目を選ぶ



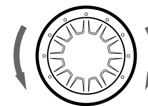
→押すたびに、次のように切り換わります。

●調整項目

FRONT/REAR：フロント/リア
BAND　：バンド（1～3）
FREQ　：周波数（20Hz～20kHz）
GAIN　：ゲイン（−12dB～＋12dB）
Q　：Qカーブ　（1/3/5/7/20）

※詳しくは、次ページの「P.EQの調整について」をご覧ください。

4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



5 手順3～4を繰り返して各調整項目を調整し終えたら、タイトルボタンを押す



6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)

①～⑥

→ユーザーメニューにメモリーされます。

7 EQボタンを押して、元のモードに戻る



・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(51ページ)をご覧ください。

P.EQの操作（イコライザーモード）

■P.EQの調整について

P.EQ メニューの調整内容は、以下の通りです。

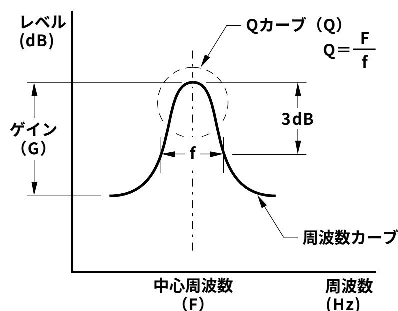
- チャンネルの選択(FRONT/REAR)
  調整するチャンネル（フロントまたはリア）を選びます。
- バンドの選択(BAND)
  調整する周波数バンド（1～3）を選びます。
- 中心周波数の選択(FREQUENCY)
  補正したい中心となる周波数を20Hz～20kHz範囲から選びます。
  （1/3オクターブステップ、31ポイント）
- ゲインの調整(GAIN)
  ゲイン（出力レベル）を－12dB ～＋12dBの範囲で調整します。（1dBステップ、25ポイント）
- Qカーブの選択(Q)
  Qカーブの鋭さを1、3、5、7、20のいずれかに設定します。

補正について

周波数特性を測定器で測ったときに、周波数特性が平坦（周波数特性に山や谷が無い状態）であれば、補正の必要はありませんが、周波数特性が部分的に持ち上がっていたり、下がっていることがあります。このようなときに、部分的に持ち上がったり、下がったりしている部分の中心周波数に合わせて、逆の特性の周波数カーブをつくります。こうすることで周波数特性が補正され、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。
このように、周波数特性を できるだけ平坦にすることが補正です。

・周波数特性の補正について

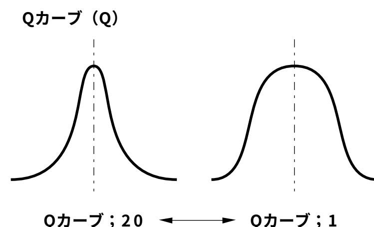
中心周波数、ゲイン、Qカーブの関係は、下図をご覧ください。



・Qカーブについて

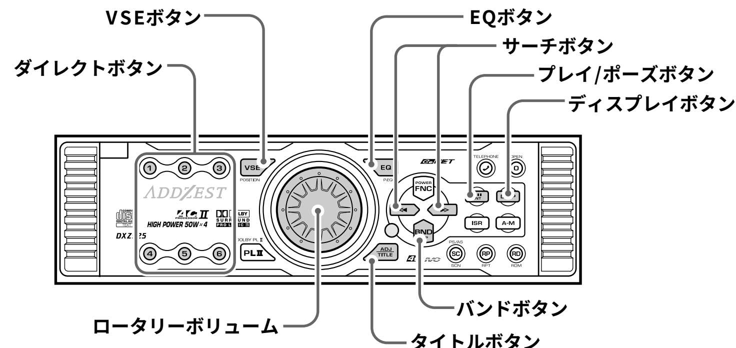
Qカーブは、数値を大きく設定すると鋭く、数値を小さく設定すると緩やかなカーブになります。

補正したい周波数カーブと逆のQカーブを選ぶことで、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。



F；中心周波数、 G；ゲイン（出力レベル）、 Q；Qカーブ

ボタン (車種タイプ)	パラメトリックイコライザーパラメーター(初期設定)									
	チャンネル	バンド1			バンド2			バンド3		
1 (SEDAN-1)	フロント	F=250Hz	G=－8dB	Q=3	F=2kHz	G=－4dB	Q=1	F=5kHz	G=－4dB	Q=1
	リア	F=250Hz	G=－10dB	Q=3	F=1.25kHz	G= 0dB	Q=5	F=8kHz	G= 0dB	Q=5
2 (SEDAN-2)	フロント	F=250Hz	G=－10dB	Q=7	F=800Hz	G=－4dB	Q=3	F=8kHz	G=－5dB	Q=1
	リア	F=80Hz	G=＋3dB	Q=7	F=125Hz	G=－12dB	Q=5	F=1.25kHz	G= 0dB	Q=5
3 (WAGON-1)	フロント	F=250Hz	G=－8dB	Q=3	F=1kHz	G=－8dB	Q=3	F=10kHz	G=－6dB	Q=1
	リア	F=250Hz	G=－8dB	Q=3	F=800Hz	G=－8dB	Q=1	F=8kHz	G= 0dB	Q=5
4 (WAGON-2)	フロント	F=250Hz	G=－8dB	Q=7	F=400Hz	G=－10dB	Q=7	F=1.25kHz	G=－8dB	Q=7
	リア	F=125Hz	G=－8dB	Q=3	F=500Hz	G=－5dB	Q=5	F=1.6kHz	G=0dB	Q=3
5 (MINI VAN-1)	フロント	F=125Hz	G=－4dB	Q=5	F=1.25kHz	G=－4dB	Q=3	F=2kHz	G=＋3dB	Q=7
	リア	F=250Hz	G=－6dB	Q=1	F=630Hz	G=－4dB	Q=3	F=8kHz	G= 0dB	Q=5
6 (MINI VAN-2)	フロント	F=250Hz	G=－4dB	Q=3	F=1.25kHz	G=－8dB	Q=3	F=80Hz	G=＋3dB	Q=3
	リア	F=250Hz	G=－8dB	Q=3	F=500Hz	G=－5dB	Q=5	F=8kHz	G= 0dB	Q=5



VSE、ポジション、P.EQ（ユーザーメニュー）にタイトルをつける

タイトル入力について…

VSE、ポジション、P.EQのユーザーメニューにタイトルをつけて、選択したときに表示することができます。

1 VSEボタンまたはEQボタンを押して、タイトルをつけたいモードを選ぶ



2 バンドボタンを押してユーザー「USER」を選ぶ



→ディスプレイに「USER」が表示されます。

3 ダイレクトボタンを押してタイトルをつけたいユーザーメモリーを選ぶ

①～⑥

4 タイトルボタンを押す



→タイトル入力モードになります。

5 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、入力位置を決める

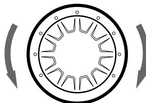



6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を選ぶ



→ディスプレイボタンを押すたびに、文字の種類が切り換わります。詳しくは、54ページをご覧ください。

7 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、入力文字を決める



・入力位置が点滅し、10文字まで入力できます。

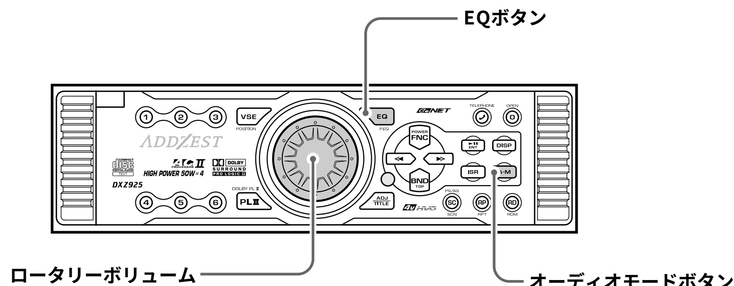
8 手順5～7を繰り返して、タイトルを入力する

9 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



→タイトルがメモリーされます。

音質/音量を調整する



音質を調整する（バス/トレブルモード）

この機能は、*EQ SELECT*の設定が「*EQ BAS/TREB*」のときに調整できます。設定のしかたは、「ACプロセッサーIIを選択する」(43ページ)をご覧ください。

- **初期設定は「*0*」です。**

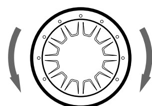
1 EQボタンを押して、バス(*BASS*) / トレブル(*TREB*) 調整を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。



2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



- 「***BASS***」調整範囲は－６～＋６です。
- 「***TREB***」調整範囲は－６～＋６です。

3 EQボタンを押して、元のモードに戻る



ノンフェダー/サブウーファー/センタースピーカーの音量を調整する

- **「*NF VOL*」(ノンフェダー)「*SW VOL*」(サブウーファー)の初期設定は「0」です。**
- **「*CTR VOL*」(センタースピーカー)の初期設定は「-５」です。**

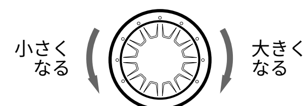
1 オーディオモードボタンを押して、「*NF VOL*」または「*SW VOL*」または「*CTR VOL*」を選ぶ



→スタンダードモード選択時は、「***NF VOL***」
プロモード選択時は、「***SW VOL***」を表示します。

→「***CTR VOL***」表示は、ドルビープロロジック II モード選択中に表示します。
また、「***SP-SETTING***」の設定を「***CTR+SW***」に設定し、「***SP-SEL***」の設定を「***ON***」に設定した場合に表示します。(39ページ参照)

2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して音量を調整する



- 「***NF VOL***」「***SW VOL***」の調整範囲は－５～＋５です。
- 「***CTR VOL***」の調整範囲は －６～０です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す



バランス/フェダーを調整する

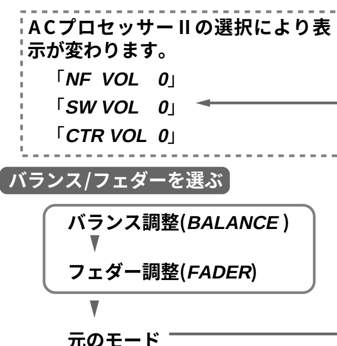
ご注意

- **PROモード選択中は、バランス/フェダーの調整はできません。「タイムアライメント機能」(47ページ)で調整します。**

1 オーディオモードボタンを押して、「*BALANCE*」または「*FADER*」を選ぶ

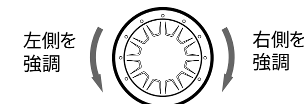


→押すたびに、次のように切り換わります。



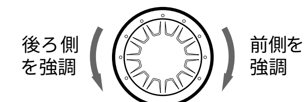
2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する

■バランスの調整(左右のスピーカ音量)



- 調整範囲は、L１３～R１３です。

■フェダーの調整(前後のスピーカ音量)



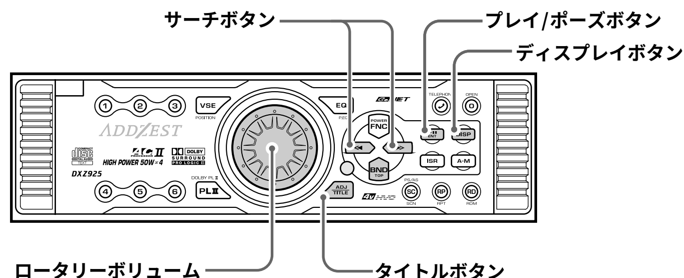
- 調整範囲は、F１２～R１２です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す



本機の操作

タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオやTVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。（ラジオ、TV、CD、CDチェンジャーモード時）

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ/TVモード　：30タイトル
- CDモード　：50タイトル
- CDチェンジャーモード
  - DCZ625　：60タイトル
  - CDR1255z　：50タイトル

1 ラジオ/TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「USER TITLE」に設定する

•ラジオ/TVモードのエリアを「USER TITLE」に切り換えるには、「チューナーエリアを設定する」(64ページ)、「TVエリアを設定する」(65ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

DISP

•CDモード、CDチェンジャーモードの場合は、ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)ユーザータイトルに切り換えてください。（29ページ参照）

4 タイトルボタンを押す

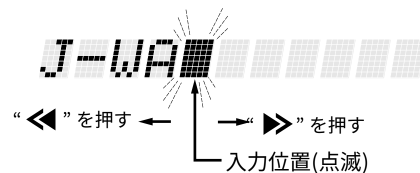


→タイトル入力モードになります。

5 サーチボタンの≪または≫を押して、入力位置を決める



→点滅している文字位置が左右に移動します。



•入力できる文字数は、10文字です。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を選ぶ



→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。

アルファベットの大文字
↓
アルファベットの小文字
↓
数字/記号
↓
カタカナ（→アルファベットの大文字へ戻る）

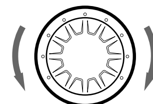
• アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

• アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

• 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
. , ' : ; ! ? α ＊ # $ % & ￥ + − × / =( )< >
" → ← ↑ ↓ ⧓ ⬍ ♂ ♀ ★ ♥ ♦ ♯ ♭ ♪ ♪ ♬ ♬

• カタカナ
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト
ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ
ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ ゛ ゜ ー「 」

7 ローターリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、入力文字を決める



8 手順5〜7を繰り返して、タイトルを入力する

•ダイレクトボタンの1を押すと、入力中のタイトルを右側から表示または左側から表示します。

•バンドボタンを押すと、入力中のタイトルが全て消えます。

9 プレイ/ポーズボタンを押し続ける（約2秒間）



→タイトル表示部に「*TITLE MEMO*」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■ タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには…

ディスプレイボタンを押してください。



■ タイトルメモリーがいっぱいになると…

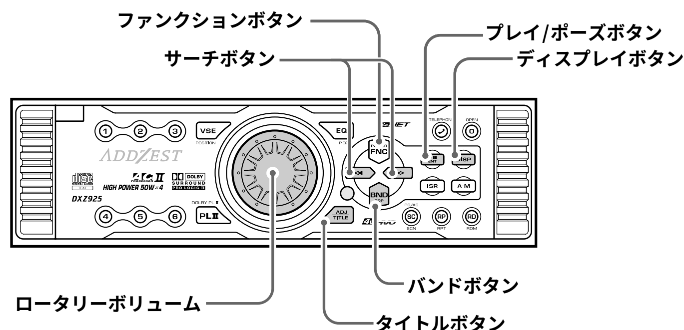
• ラジオ局タイトルの場合

プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

• ディスクタイトルの場合

演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

タイトルをつける



イージーインプットをする

イージーインプットについて…

本機は、チューナー/TVエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「USER TITLE」にコピーすることができます。（イージーインプット機能）

ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

1 ラジオまたはTVモードにしてタイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



→ディスプレイに「*DIMMER LV*」を表示します。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*TUNER AREA*E」または「*TV AREA*E」を選ぶ

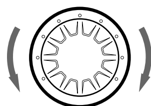


3 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定されているエリア名を表示します。

4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



•受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する」(64ページ)「TVエリアを設定する」(65ページ)をご覧ください。

5 プレイ/ポーズボタンを押し続ける（約2秒間）



→ピーと鳴って、「*TUNER AREA*」または「*TV AREA*」表示に戻ります。

6 タイトルボタンを押して元のモードに戻る



→イージーインプットしたタイトルを表示します。

タイトルを削除する

1 ファンクションボタンを押してモードを選ぶ（ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー）



2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする



4 タイトルボタンを押す



→表示されているタイトルの1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。

5 バンドボタンを押す



→タイトルが消えます。

6 プレイ/ポーズボタンを押し続ける（約2秒間）



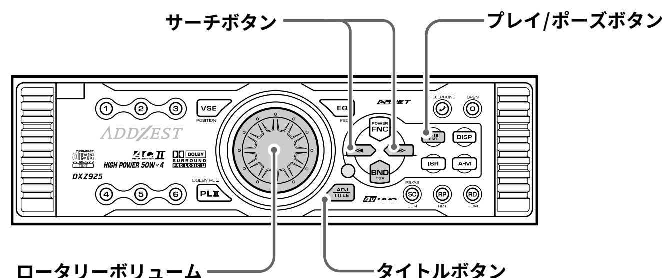
→タイトルが削除され、「***St.NO-TITLE***」(ラジオモード時)を表示します。

■ タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには…

ディスプレイボタンを押してください。



設定を変更する(アジャストモード)



設定項目を選ぶ

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイに「*DIMMER LV*」を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、設定する項目を選ぶ



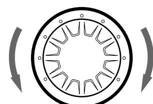
•サーチボタンの◀◀または▶▶を押すたびに、設定項目が右ページのように切り換わります。

3 末尾に E が表示されている項目名は、プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させる



＊末尾に E の表示がない項目名は、項目を選択してから約2秒後に、設定内容表示に切り換わります。

4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、設定する



■元のモードに戻すには…

設定終了後に、タイトルボタンを押してください。



●**アジャストモード設定項目**

DIMMER LV
• **ディマーレベルの設定**

CONTRAST
• **ディスプレイのコントラスト調整**

KEY ILLUMI
• **ボタンイルミネーションの設定**

AUTO SS E
• **スクリーンセーバーの設定**

MESSAGE
• **メッセージ表示の設定**

BEEP
• **ビープ音の設定**

AUTO SCROLL
• **タイトルスクロール方法の設定**

AUX SENS
• **携帯用オーディオ(AUX)の入力レベル設定**

TUNER AREA E
• **チューナーエリアの設定**

TV AREA E
• **TVエリアの設定**（TV接続時に表示）

TV DIVER
• **TVダイバーシティの設定**（TV接続時に表示）

AC-PII SEL E
• **ACプロセッサーIIの選択**（43ページ参照）

SP-SETTING
• **スピーカーを設定する**（39ページ参照）

SP-SEL E
• **スピーカーの有無を設定する**（39ページ参照）

FILTER E
SP-GAIN E
PLII DELAY E
PLII CONT E
• **初期設定を変更する**（40～42ページ）をご覧ください。

TEL-SP
• **電話の出力スピーカーを設定**
(TEL-LINK 接続時に表示)

CLOCK E
• **時刻の設定**（30ページ参照）

ディマーレベルを設定する (DIMMER LV)

ディマーについて…

車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイの照明を減光させることができます。

• **初期設定は、「*LV3*」です。**

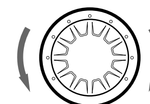
1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*DIMMER LV*」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、ディマーレベルを設定する



→ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回すたびに、「OFF」⇔「1」～「5」と切り換わります。

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



本機の操作

設定を変更する(アジャストモード)

ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)

コントラスト機能について…

ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

• 初期設定は、「*18*」です。

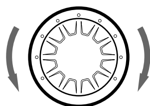
1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*CONTRAST*」を選ぶ**



3 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、コントラストを調整する**



→コントラストの調整範囲は、「**1**」〜「**18**」の範囲です。ディスプレイ表示の変化を見ながら設定してください。

4 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



ボタンイルミネーションを設定する(KEY-ILLUMI)

ボタンイルミネーションについて…

お好みに合わせてボタン照明色を変更することができます。

•初期設定は、「*GREEN* (緑)」です。

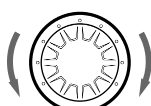
1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*KEY ILLUMI*」を選ぶ**



3 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、イルミネーションの色を選ぶ**



→イルミネーションの色は、緑(GREEN)と赤(RED)です。

4 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



スクリーンセーバーを設定する(AUTO SS)

スクリーンセーバーについて…

４種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。

• 初期設定は、「*SS RANDOM*」です。

1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



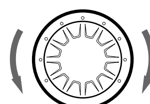
2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*AUTO SS*E」を選ぶ**



3 **プレイ/ポーズボタンを押す**



4 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、パターン名を選ぶ**



→スクリーンセーバーは右図の4種類です。パターン名を選ぶと、そのパターンをデモ表示します。

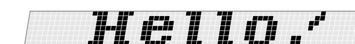
6 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



● ランダム(*SS RANDOM*)

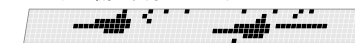
(パターン1〜3をランダムに表示)

●パターン3(*SS PTN3*)
いろいろな文字がランダムに変化します。



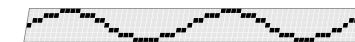


●パターン2(*SS PTN2*)
ジェット機を表示します。





●パターン1(*SS PTN1*)
いろいろな文字やイラストがランダムに変化します。





● オフ(*SS OFF*)

(パターンは表示されません。)

本機の操作

設定を変更する(アジャストモード)

メッセージを表示させる(MESSAGE)

メッセージ表示機能について…

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。
本機では、お好みに合わせてこれらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

- **初期設定は、「*ON*」です。**
- **設定をＯＮにすると電源を入れたときに「*Hello!*」電源を切ったときに「*Good-bye!*」を表示します。**

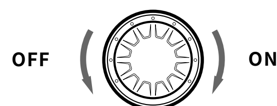
1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*MESSAGE*」を選ぶ**



3 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「*ON*」または「*OFF*」を選ぶ**



4 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

ビープ音について…

操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

- **初期設定は、「*ON*」です。**

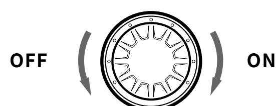
1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*BEEP*」を選ぶ**



3 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「*ON*」または「*OFF*」を選ぶ**



4 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)

タイトルスクロールについて…

タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

- **初期設定は、「*ON*」です。**

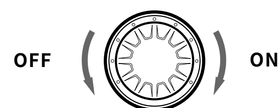
1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*AUTO SCROLL*」を選ぶ**



3 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「*ON*」または「*OFF*」を選ぶ**



- **ON**　：自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。
- **OFF**　：タイトルボタンを押すとスクロールします。

4 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



携帯用オーディオ(AUXモード)の入力レベルを設定する(AUX SENS)

本機に接続された市販のヘッドホンステレオの入力レベルを設定します。

- **初期設定は、「*LOW*」です。**

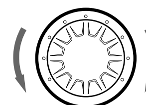
1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*AUX SENS*」を選ぶ**



3 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「*HIGH*」、「*MID*」または「*LOW*」を選ぶ**



4 **タイトルボタンを押して、元のモードに戻る**



設定を変更する(アジャストモード)

チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)

チューナーエリアについて…

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

- **初期設定は､「コウイキ カントウ」(広域 関東)です。**
- **オリジナルの放送局名を表示する場合は、「*USER TITLE*」にしてください。
また､オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(54ページ)をご覧ください。**

イージーインプット機能について…

チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したチューナーエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリーへ登録されます。

1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)､アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*TUNER AREA* E」を選ぶ**

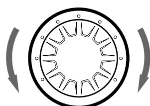


3 **プレイ/ポーズボタンを押す**



→設定されているエリア名を表示します。

4 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して､チューナーエリアを選ぶ**



→ロータリーボリュームを回すたびに､エリアが切り換わります。
エリアは右図の11種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキトウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

6 **タイトルボタンを押して､元のモードに戻る**



TVエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて…

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

- **初期設定は、「カントウ」(関東)です。**
- **オリジナルの放送局名を表示する場合は、「*USER TITLE*」にしてください。
また､オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(54ページ)をご覧ください。**

イージーインプット機能について…

テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリーへ登録されます。

1 **タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)､アジャストモードにする**



2 **サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*TV AREA* E」を選ぶ**

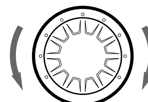


3 **プレイ/ポーズボタンを押す**



→設定されているエリア名を表示します。

4 **ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して､TVエリアを選ぶ**



→ロータリーボリュームを回すたびに､エリアが切り換わります。
エリアは右図の22種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ゛	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

6 **タイトルボタンを押して､元のモードに戻る**



TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

- **初期設定は、「*ON*」です。**
- **TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。**

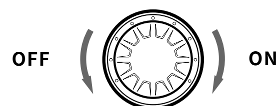
1 タイトルボタンを押し続けて（約1秒間）、アジャストモードにする



2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*TV DIVER*」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「*ON*」または「*OFF*」を選ぶ



4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



電話の割り込みを設定する(TEL-SP)

電話の割り込み機能について…

本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニット(JCH540Z)を接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。
さらに、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

- **初期設定は「*LEFT*」です。**

1 タイトルボタンを押し続けて（約1秒間）、アジャストモードにする

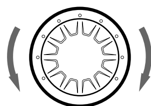


2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「*TEL-SP*」を選ぶ



→「*TEL-SP*」を表示した後、「*T-SP LEFT*」または「*T-SP RIGHT*」を表示します。

3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「*RIGHT*」または「*LEFT*」を選ぶ



→回すたびに、「*T-SP LEFT*」と「*T-SP RIGHT*」が切り換わります。

ご注意

ハウリングを防止するため、右ハンドル車の時は左スピーカー(LEFT)に、左ハンドル車の時には右スピーカー(RIGHT)に設定してください。

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



CD/MDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCD/MDチェンジャーを接続すると、本機でCD/MDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

DVDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のDVDチェンジャーを接続すると、本機でDVDチェンジャーをコントロールすることができます。また、DVDを見るためには、別販のモニターが必要です。

- **本機による操作･表示は簡易的なものであり、DVDチェンジャーの全機能には対応していません。DVDチェンジャーの操作は、DVDチェンジャーに付属のリモコンを使用して操作をします。詳しくは、DVDチェンジャーに付属の「取扱説明書」をご覧ください。**

■2台のCD（またはMD）チェンジャーを接続したときは…

ファンクションボタンを押して、接続したチェンジャーを選択してください。（ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。）

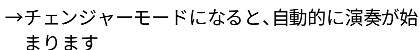
・DVD/CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「***NO MAGAZINE***」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「***NO DISC***」と表示されます。

・MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「***NO DISC***」と表示されます。

・タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」（29ページ）をご覧ください。

チェンジャーモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、チェンジャーモードを選ぶ

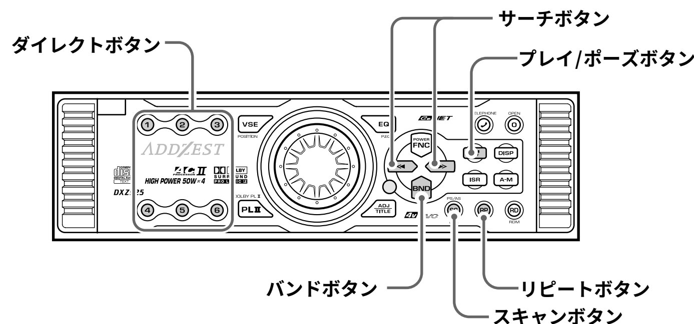


→チェンジャーモードになると、自動的に演奏が始まります



- 接続していない機器のモードは表示されません。

CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



聴きたいディスクを選ぶ

1 ダイレクトボタン(1〜6)を押す

①〜⑥

または、バンドボタンを押す



→ディスプレイのディスクNo.が点滅して、演奏をはじめます。

- MDまたはマガジンにディスクが入っていない場合は、そのダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のディスクNo.と同じダイレクトボタンを選んだときは、そのディスクの1曲目に戻って演奏します。

■12枚CDチェンジャー接続時に、7〜12のディスクを選ぶには…

ダイレクトボタン(1〜6)を押し続け(約1秒間)てください。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの▶▶を押す

2 前の曲を聴くときは、サーチボタンの◀◀を2回押す



→▶▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→◀◀を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの▶▶を押し続ける

2 早戻しするときは、サーチボタンの◀◀を押し続ける



演奏を止める(一時停止する)

1 プレイ/ポーズボタンを押す



→タイトル表示部に「*PAUSE*」を表示します。

■続けて演奏を聴きたいときには…

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

1 1〜6のディスクを演奏しているときは、演奏しているディスクと同じ番号のダイレクトボタン(1〜6)を押す

7〜12のディスクを演奏しているときは、演奏しているCDと同じ番号のダイレクトボタン(1〜6)を押し続ける(約1秒間)(12枚CDチェンジャー接続時)

①〜⑥

- MDまたはマガジンにディスクが入っていない場合は、そのダイレクトボタンを押しても受け付けません。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

チェンジャー内のディスク全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す



→表示パネルの「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「*Tr-SCAN*」を表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→表示パネルの「SCN」が消え、いま演奏している曲から演奏します。

聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について…

チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→表示パネルの「DISC」と「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「*DISC-SCAN*」を表示してディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

■ ディスクスキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→表示パネルの「DISC」と「SCN」が消え、いま演奏しているディスクから演奏します。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



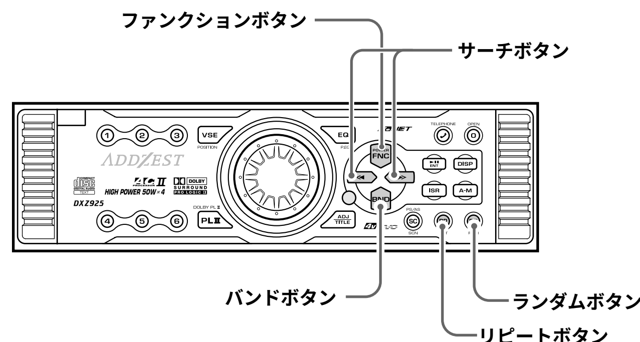
→表示パネルの「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「*Tr-REPEAT*」を表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…

もう1度リピートボタンを押してください。

→表示パネルの「RPT」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



1 枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について…
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

RP
RPT

→表示パネルの「DISC」と「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「***DISC-REPEAT***」を表示して、ディスクリピート演奏をします。

■ ディスクリピート演奏を解除するには…

もう1度リピートボタンを押してください。

→表示パネルの「DISC」と「RPT」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について…
演奏中のディスクの全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

RD
RDM

→表示パネルの「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「***Tr-RANDOM***」を表示して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには…

もう1度ランダムボタンを押してください。

→表示パネルの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

全ディスクの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について…
チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

RD
RDM

→表示パネルの「DISC」と「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「***DISC-RANDOM***」を表示して、ディスクランダム演奏をします。

■ ディスクランダム演奏を解除するには…

もう1度ランダムボタンを押してください。

→表示パネルの「DISC」と「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る

TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。また、TVを見るためには、別販のモニターが必要です。



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

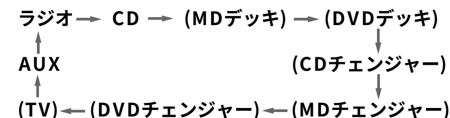
- **TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(66ページ)で、設定を「OFF」にしてください。**
- **受信地域内の放送局を表示させたいときは、「TVエリアを設定する」(65ページ)で受信エリアを設定してください。**

TVモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。



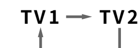
• 接続していない機器のモードは表示されません。

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押してTV1またはTV2を選ぶ



→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

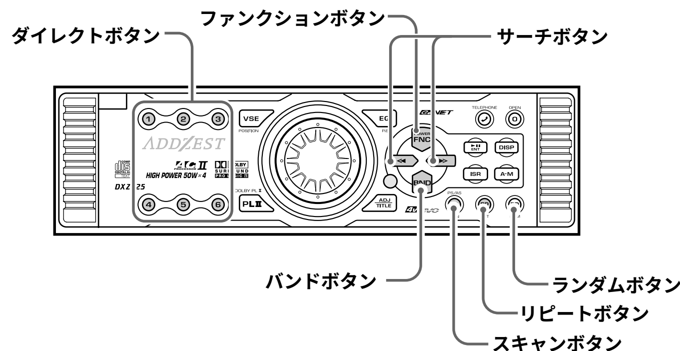


→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、放送のあるところに合わせる



テレビを見る



プリセット選局する

プリセット選局について…
あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

1 ダイレクトボタン（1～6）を押して、聴きたい放送局を選ぶ

①～⑥

→ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

ご注意

ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド（TV1またはTV2）を選ぶ



2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



3 メモリーさせたいダイレクトボタン（1～6）を押し続ける（約2秒間）

①～⑥

→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

自動メモリーする（オートストア機能）

オートストア機能について…
自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 スキャンボタンを押し続ける（約2秒間）



→タイトル表示部に「***AUTO STORE***」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

• 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン（1～6）に登録されていきます。

ご注意

- **自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。**
- **登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。**

放送を確かめる（プリセットスキャン）

プリセットスキャンについて…
プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 スキャンボタンを押す



→タイトル表示部に「***PRESET SCAN***」を表示しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

• メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

スキャンボタンを押し続けると（約2秒間）、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…
もう1度、スキャンボタンを押してください。

→スキャンボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

ステレオ/モノラル音声を切り換える

1 リピートボタンを押す



→押すたびに、ステレオ音声(***STEREO***)とモノラル音声(***MONO***)を切り換えます。

主音声/副音声を切り換える

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→押すたびに、主音声(***MAIN***)と副音声(***SUB***)を切り換えます。

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

1 TVモード時にランダムボタンを押す

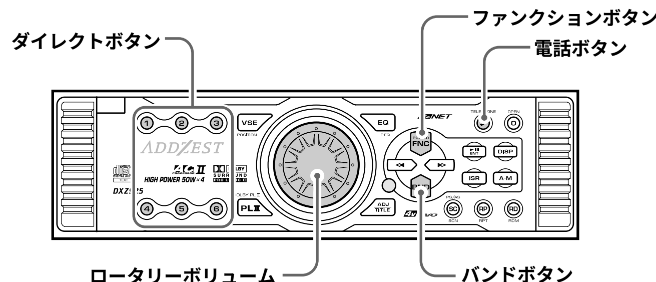


→タイトル表示部に「 ***VTR*** 」を表示し、TVモードからVTRモードに切り換わります。

• TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

■ TVモードに戻すには…
もう1度、ランダムボタンを押してください。

携帯電話機を操作する



本機は、別販のオーディオコントロール付TEL-LINK ユニットを接続することにより、携帯電話機による通話をコントロールすることができます。詳しくは、オーディオコントロール付TEL-LINKユニットの取扱説明書をご覧ください。

- **TEL-LINKユニットに接続可能な、デジタル携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または弊社お客様相談室にお問い合わせください。**

⚠警 告

運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

電話をかける (スーパースピードダイヤル)

1 電話ボタンを押す

TELEPHONE



→電話モードに切り換わります。

2 ダイレクトボタン(1〜6)を押す

①〜⑥

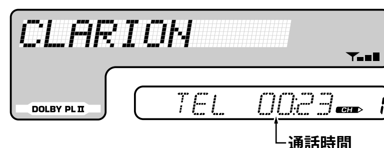
→携帯電話機のメモリーダイヤルを呼び出し、登録内容を音声で案内し、更にディスプレイ表示して、自動で発信します。

- ファンクションボタンを押すと、即座にダイヤル発信します。

●発信中の表示



●通話中の表示



- 本機にメモリーされたメモリーダイヤル番号は変更できません。変更するときは、携帯電話側で変更してください。

3 電話ボタンを押して、元のモードに戻る

TELEPHONE



■ 通話を終了するには…

バンドボタンを押してください。

着信電話を保留する

1 バンドボタンを押す



→タイトル表示部の相手先名前あるいは電話番号が点滅します。

■保留を解除するには…

ファンクションボタンを押してください。

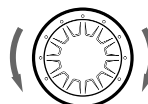
通話音量を調整する

1 電話ボタンを押して、電話モードにする

TELEPHONE



2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、通話音量を調整する



- 通話時にロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整することもできます。
- 調整した通話音量はメモリーされます。
- 電話モード時の通話音量は、オーディオ時の音量設定と異なります。

ご注意

通話音量を出すスピーカーは、助手席側のスピーカーを指定してください。
設定を間違えるとハンズフリー通話のときにハウリングを起こします。
スピーカーの設定のしかたは、「電話の割込を設定する」(66ページ)をご覧ください。

その他の外部機器を操作する

ファンクションボタン

MDデッキを操作する

別販のMDデッキを接続すると、本機の操作でMDを再生することができます。この場合の操作は、「CDを聴く」(34～37ページ)をご覧ください。

1 ファンクションボタンを押して、MDデッキモードを選ぶ

→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → (MDデッキ) → (DVDデッキ)
↑ ↓
AUX (CDチェンジャー)
↑ ↓
(TV) ← (DVDチェンジャー) ← (MDチェンジャー)

携帯用オーディオを聴く(AUXモード)

AUXモードについて…

本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。
別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 ファンクションボタンを押して、AUXモードを選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。AUXモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、再生されます。

ラジオ → CD → (MDデッキ) → (DVDデッキ)
↑ ↓
AUX (CDチェンジャー)
↑ ↓
(TV) ← (DVDチェンジャー) ← (MDチェンジャー)

■入力レベルを調整するには…

「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」63ページをご覧ください。

■AUX入力の接続のしかた

本機のAUX入力RCAピンコードへ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

DVDデッキを操作する

別販のDVDデッキを接続すると、本機の操作でDVDを再生することができます。この場合の操作は、「CDを聴く」(34～37ページ)をご覧ください。また、DVDを見るためには、別販のモニターが必要です。

1 ファンクションボタンを押して、DVDデッキモードを選ぶ



→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → (MDデッキ) → (DVDデッキ)
↑ ↓
AUX (CDチェンジャー)
↑ ↓
(TV) ← (DVDチェンジャー) ← (MDチェンジャー)

■スロー再生するには…

1 スロー再生したいところで、プレイ/ポーズボタンを押す。



2 サーチボタンの▶▶を押し続ける



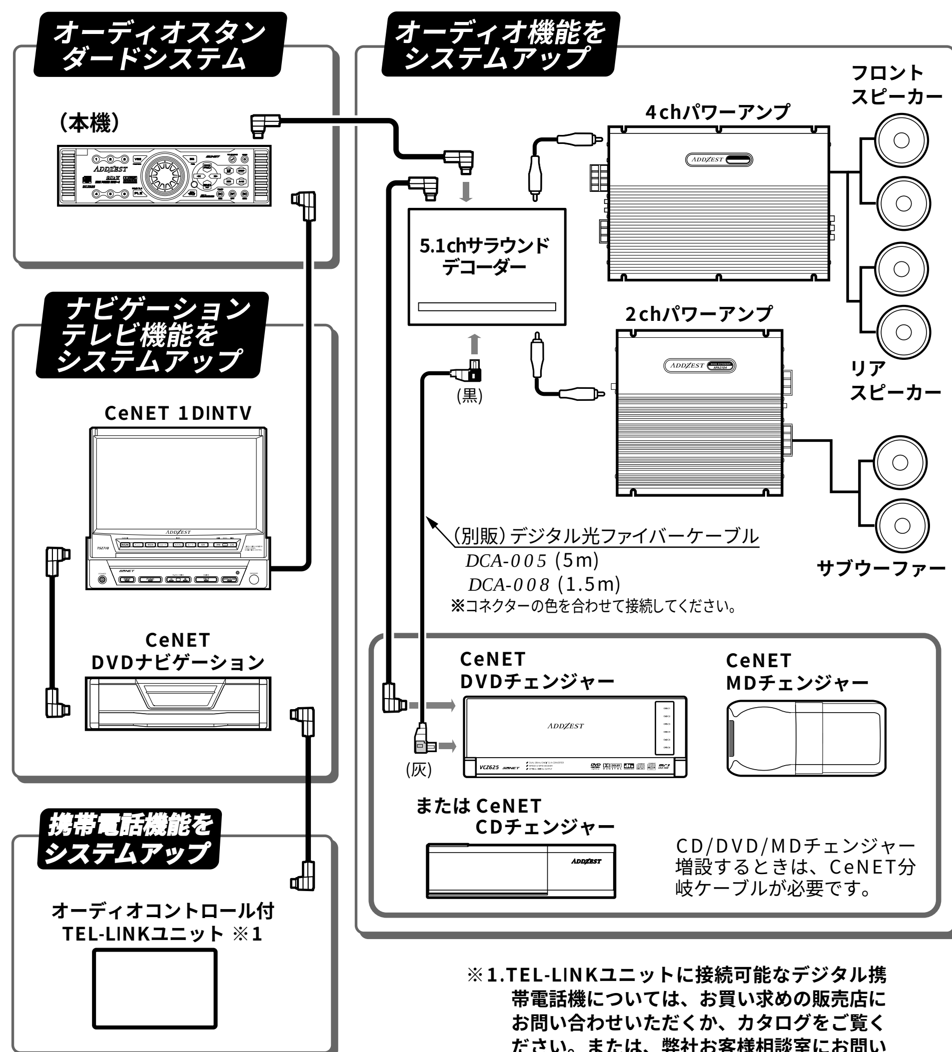
■スロー再生を戻すには…

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

外部機器の操作

システムアップについて

本機は CeNET マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



※1.TEL-LINKユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。

※2.システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

：CeNETケーブル (※2)

：RCAピンコード

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET分岐ケーブルCCA-519含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

■ CeNET 接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET DVDチェンジャー	5m <オス⇔オス>
CeNET MDチェンジャー	5m <オス⇔オス>
CeNET CDチェンジャー	5m <オス⇔オス>
5.1chサラウンドデコーダー	5m <オス⇔オス>
オーディオコントロール付TEL-LINKユニット	2.5m <オス⇔オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オス×2⇔メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス⇔メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス⇔メス>

<>内は、コネクターの形状を表しています。

その他

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

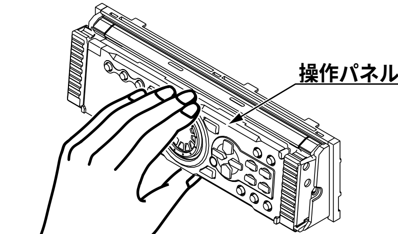
	現　象	原　因	処　置
共通	電源が入らない（音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD	CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

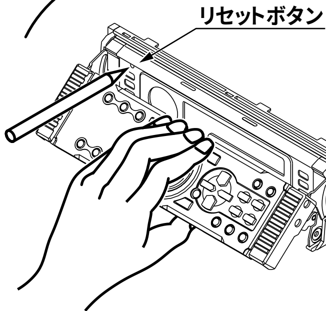
1 操作パネルを手動で開く場合

操作パネルの中央付近に指を置き、操作パネルの下側を手前に引くようにしてゆっくり開いてください。（このときリセットボタンが見える程度に開いてください。）

⚠注意

- **操作パネルを開くとき必要以上な力をかけないでください。故障の原因となります。**
- **操作パネルを開くときには、指などを挟まないように注意してください。**





2 リセットボタンを押す

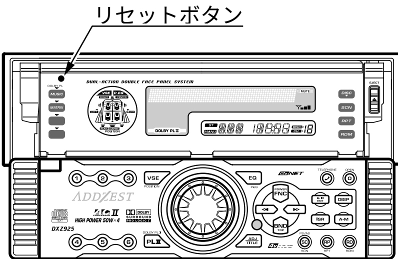
リセットボタンを細い棒などで約2秒間押してください。

⚠注意

- **リセットボタンを押すと、操作パネルが開きますので、ご注意ください。**

ご注意

リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。



その他

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　因	対処方法
CDモード	ERROR2	本機にCDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	本機のCDメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているCDと交換してください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャー内のメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
DVDチェンジャー	ERROR2	DVDチェンジャー内のディスクがローディングできないときの表示	DVDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR P	パレンタルレベルエラー	パレンタルレベルを正しく設定してください。
	ERROR R	リージョンコードエラー	リージョンコードの正しいディスクを入れてください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。
それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

■CDプレーヤー部

周波数特性　：20Hz～20kHz±1dB
SN比　：100dB
ダイナミックレンジ　：96dB
高調波ひずみ率　：0.01%

■FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz～90.0MHz
実用感度　：9dBf
50dBクワイティング感度：15dBf
SN比　：70dB
周波数特性　：30Hz～15kHz±3dB
分離度　：35dB(1kHz)
高調波ひずみ率(ステレオ)：0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数　：522kHz～1,629kHz
実用感度　：28dBμ
SN比　：50dB

■DSP/EQ部

A/D変換　：20bit
64倍オーバーサンプリング△Σ
D/A変換　：24bit
128倍オーバーサンプリング
アドバンスト マルチビット△Σ

STD…V.S.E　：BASIC 6モード/USER 6モード
PRO…POSITION　：BASIC 5モード/USER 5モード
P.EQ　：BASIC 6モード/USER 6モード
Dolby Pro Logic II　：2モード

■オーディオ部

定格出力　：18W×4(20Hz～20kHz、1%、4Ω)
最大出力　：50W×4
適合インピーダンス　：4Ω(4Ω～8Ω)
ラインアウト出力レベル　：4V(CD1kHz)

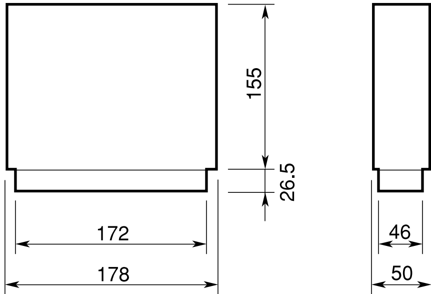
■AUX部

入力感度　HIGH　：650mV(4V出力時)
MID　：1.3V(4V出力時)
LOW　：2.1V(4V出力時)

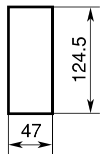
■共通部

電源電圧　：DC14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：3.0A(1W時)
ヒューズ定格　：15A
外形寸法　本体部　：178(W)×50(H)×181.5(D)mm
[取付寸法：155(D)mm]
リモコン部　：47(W)×124.5(H)×8.7(D)mm
質量　本体部　：1.7kg
リモコン部　：27g(電池含む)

●本体部



●リモコン部



■付属品

- 取扱説明書 ………… 1部
- 取付説明書 ………… 1部
- 修理相談窓口リスト ………… 1部
- 保証書 ………… 1部
- 電源コード ………… 1本
- セムス六角ボルト ………… 5本
- サラネジ(M5×8) ………… 4本
- リモコン(RCB-158) ………… 1
- 電池(CR2025) ………… 1個

＊ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

その他

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本　　社　　〒112-0001　東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	 TEL.
製造番号	

お客様へ……　ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in China　2001/12（CL.C）　PA-2479A　280-7754-00